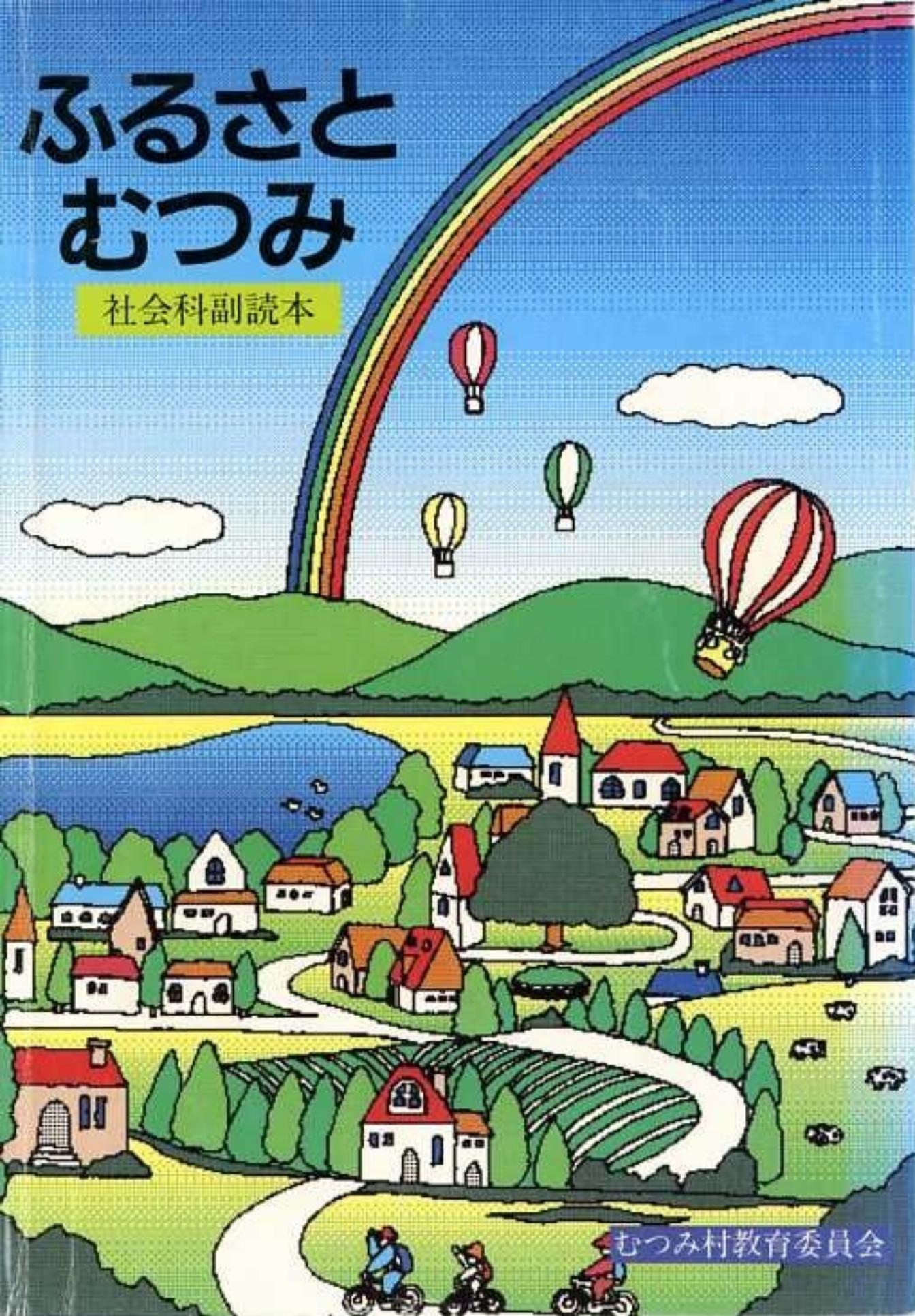


# ふるさと むつみ

社会科副読本



むつみ村教育委員会



## 村章

「む」を図案化したもので、上部で村政躍進の翼と住民の限りない文化の向上を示し、中央白ぬき円で明るい村づくり及び融和と平和を象徴しています。  
(制定昭和44年12月1日)

## むつみ村民憲章

昭和62年9月30日制定

わたくしたちは、先人の築いた奥阿武の要衝の地、わが村に誇りをもち、豊かな心と緑のある里づくりをめざし、ここに憲章を定めます。

1. ふるさとの歴史と伝統を受けつぎ、  
清らかな緑と光にみちた村をつくります。
2. 思いやりの心とたくましさをやしない  
健やかな人がつどう村をつくります。
3. 仕事に喜びをもち産業を興し、  
活力とうるおいのある豊かな村をつくります。

●村木「ひのき」



昭和59年6月27日制定

●村花「こぶし」



昭和59年6月27日制定

●村獣「ノウサギ」



昭和62年4月1日制定

●村鳥「キジ」



昭和62年4月1日制定









ふるさと

むつみ

## 村長さんからのメッセージ

むつみ村を勉強するみなさんへ



むつみ村長 ひろなか しげお  
弘中 茂雄

わたしたちの「ふるさとむつみ村」は、山や川、春夏秋冬の自然がいっぱいある美しい村です。

昭和30年、旧吉部村と、高俣村がいっしょになって、新しいむつみ村が誕生しました。先輩の方々が仲よく、むつまじく、美しい村にしよう、その思いで、ひらがなの村名がつけられました。今、ひらがなの村は、全国でただひとつだけです。

わたしたちの祖先は、汗を流し、いろいろな工夫をして、農業を始め、産業をさかんにされました。

わたしたちは、いま人口をふやし、豊かな村をつくるために、一生けん命です。

みなさんが、この本によって、村の昔と今のようすを学び、みんな仲よく、力を合わせて、豊かで美しい21世紀の「むつみ村」をつくってください。

## 教育長さんからのメッセージ

この副読本ふくどくほんを利用りようするみなさんへ



むつみ村教育委員会 教育長 ありみつ すすむ  
有光 進

わたしたちが生まれて育そだっているむつみ村は、古くから開ひらかれ、人々ひとがその時代じだいの中で一いっしょう生めいけん命生活をし、みんなが力を合わせ、努力どりょくをして、多くのすぐれた足跡あしあとを残のこしてきました。

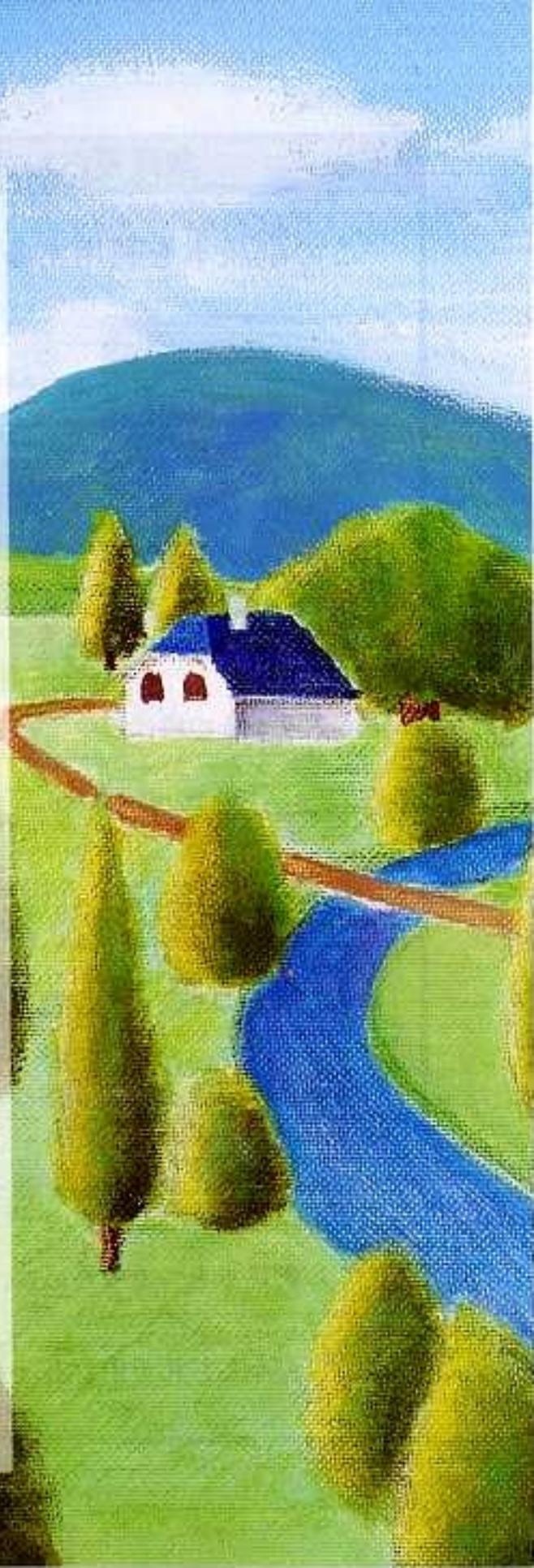
その積み重ねつ かさによって、今の村があります。みなさんが、むつみ村のうつり変わりや最近さいきんのことまで、広く学がく習しゅうし、ふるさとの良よさを見直し、ふるさとを愛あいする気持きもちちを高めるために、この本ほんが役やくに立たつことを願ねがっています。

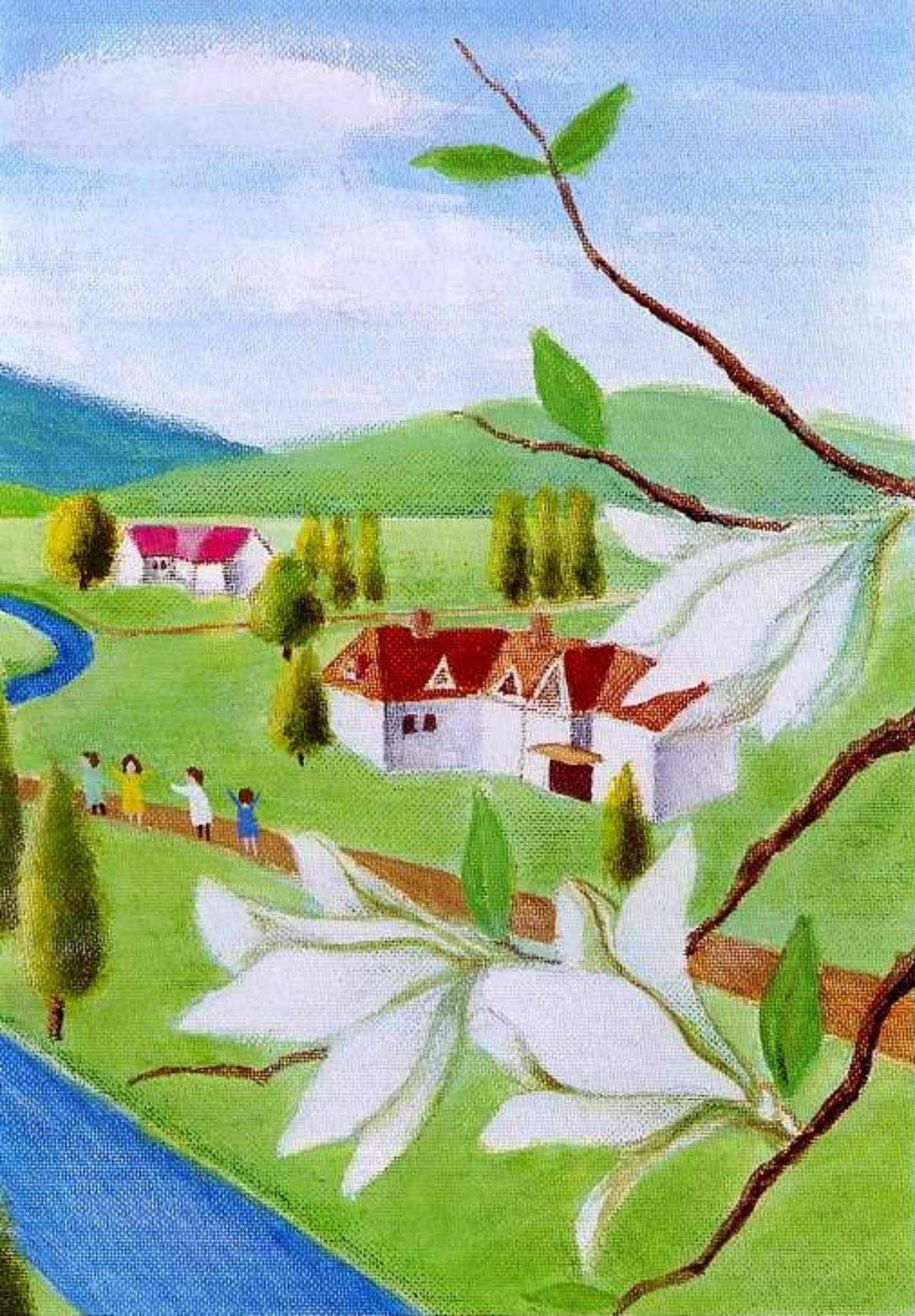
この副読本をつくるために、いそがしい中なかでご苦勞くろうされた先生方せんせいに心こころからお礼れいを申もうし上げます。

# ふるさとむつみ

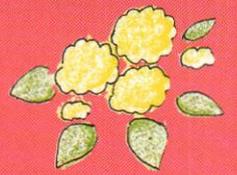
## もくじ

1. **みんなで作る村** ..... 1
  1. うつくしい村づくり ..... 1
  2. みんなのしせつ ..... 5
2. **わたしたちの村のようす** ..... 9
  1. 学校のまわりのようす ..... 9
  2. 村全体のようす ..... 11
3. **わたしたちのくらしと商店** ..... 17
  1. 買い物調べ ..... 17
  2. 近くの商店 ..... 19
  3. 町の商店 ..... 21
  4. ほかの土地とのつながり ..... 24
4. **村の人々の仕事** ..... 25
  1. 村の農家でつくっているもの ..... 25
  2. 村の工場で作っているもの ..... 36
5. **かわってきた人々のくらし** ..... 37
  1. 道具からむかしを調べる ..... 37
  2. くらしのうつりかわり ..... 39
  3. 村の古いものさがし ..... 45
6. **住みよいくらしをささえる** ..... 49
  1. こみと住みよいくらし ..... 49
  2. くらしをささえる水 ..... 56
7. **安全なくらし** ..... 59
  1. 交通じこをふせく ..... 59
  2. 火事をふせく ..... 65
8. **きょうどを開いた人々** ..... 71
  1. きょうどの発てんにつくした人々 ..... 71
  2. 新しい村づくり ..... 75





# 1. みんなでつくる村



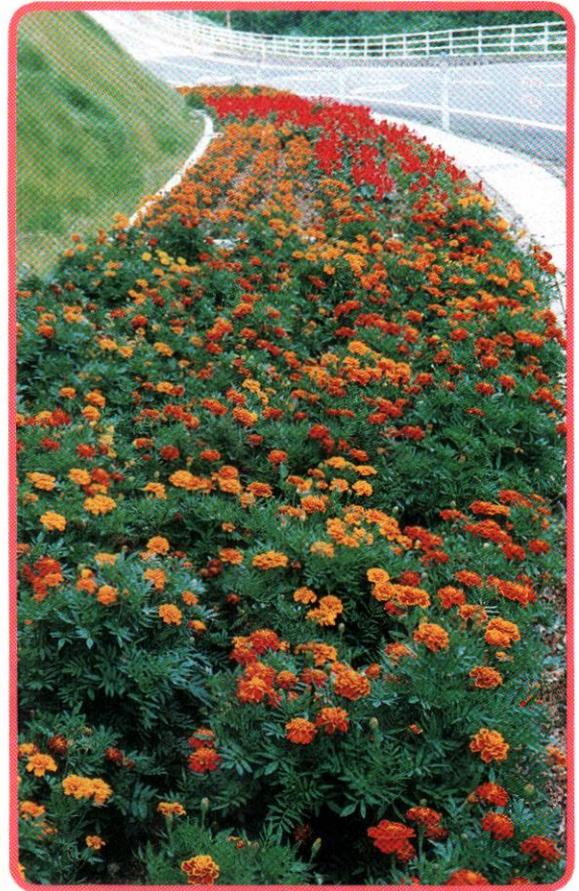
## 1. うつくしい 村づくり

むつみ村は、みどりの多いうつくしい村です。



ふすま山とさくら

こぶしの花  
（村花）



どろろ  
道路ぞいの花だん



家のまわりの花だん



ひまわりロード



村の人々は、村をきれいにするために、どんなどりよく  
をしているのでしょう。

ふれあい花だんは、だれが、どのようなせわをしているのでしょうか。



### せわをしている人の話

ふれあい花だんは、子どもと大人がいっしょになって、村をうつくしくするために始められました。

わたしたちは、花だんに植えるなえを育てています。水やりなどのせわを毎日して、じょうぶななえを育てるためにがんばっています。

みんなが花だんなえを植えたときは、ほっとするし、きれいな花がさいているのを見ると、とてもうれしくなります。

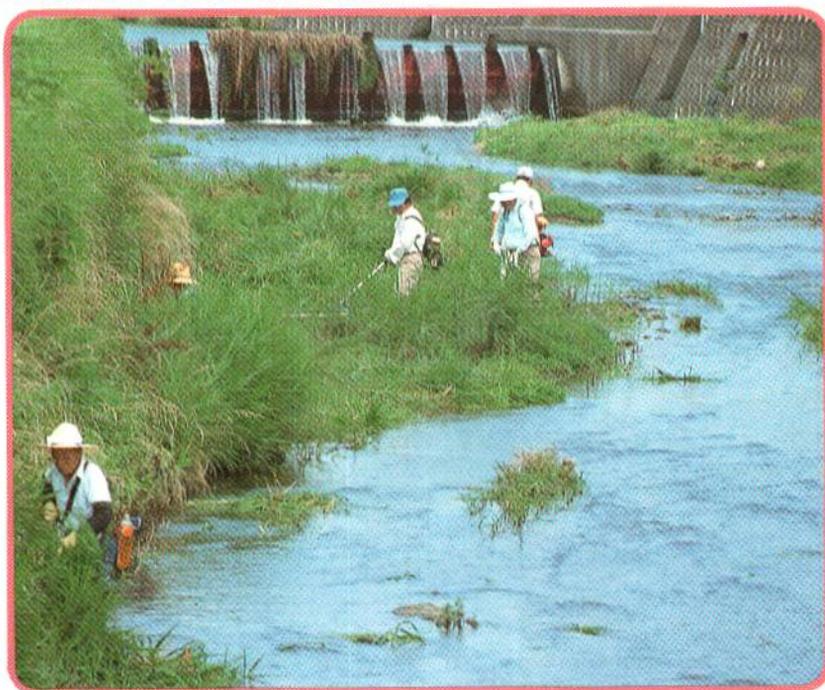
うつくしい村にするために、ほかにどんなどりよくをしているのでしょうか。



毎年、決まった日に  
取り組んでいるんだよ。



空かん〇行しん (9月の初めごろ)



川をきれいに (7月の終わりごろ)

## 2. みんなの しせつ

### のうそんかんきょうかいせん (1) 農村環境改善センター

農村環境改善センターは、どんなこと  
つか  
に使われているでしょう。



かいぎ  
会議



にゅうじ そうだん  
乳児相談



村内音楽会



本のかし出し

行事予定		
多目的ホール	10:00	75歳生誕会
相談室	20:00	生花教室
農事研修室	14:00	生産学習/スチロール栽培講習会
視聴覚室	13:00	花入浴/盆栽教室 養生
休養娯楽室	9:00	区立会館
青楓会議室	19:30	新ゆ教室



いけばな  
生花の先生の話

みなさんがねっ心にさんかされるので、とてもうれしいです。



環境改善センターのおじさんの話

みんなが、すすんでたくさん使ってほしいですね。



がくしゅう  
学習している  
人の話

やっぱりここにきた方が、勉強べんきょうになります。とても楽しいので、今ではここで学習するのが、待ちどおしくて、生きがいになっています。



しゃくはち  
尺八の先生の話

もっともっとたくさんの方が、さんかされるといいですね。

## (2) 村のいろいろなしせつ

村内には、みんなが使ういろいろなしせつがあります。  
どんなしせつがあるでしょう。また、どんなことに使わ  
れているでしょう。



子ども神楽まいの練習



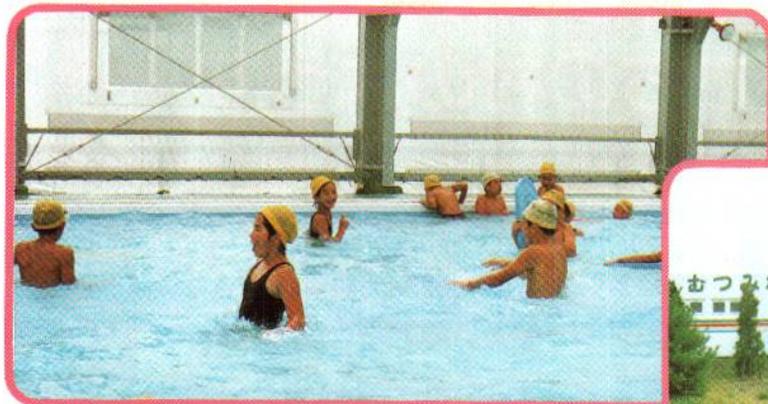
ちゅうおうちく 中央地区の公会どう (高俣)



だいきこうじ 大光寺地区  
の公会どう  
(吉部)



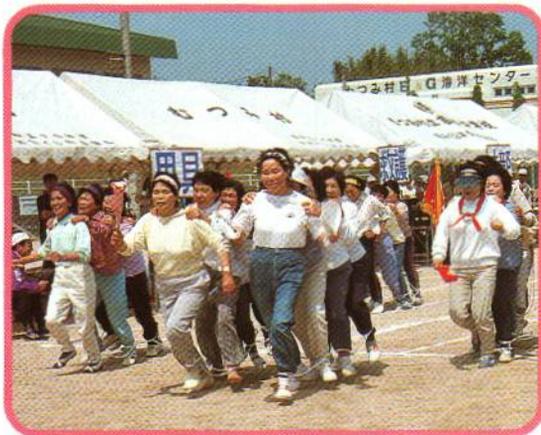
より合い



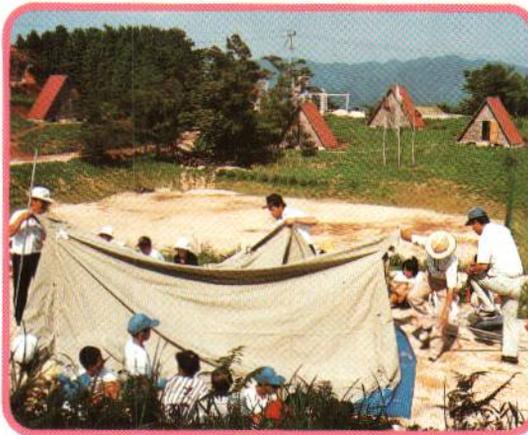
かいよう  
むつみ村B&G海洋センタープール



むつみ村B&G海洋センター体育館



そんみんうんどうじょう  
むつみ村民運動場



おか  
ネムの丘キャンプ場



みんなが使うしせつは、どんなことに気をつけて、使ったらよいでしょう。

## 2. わたしたちの村のようす



### 1. 学校の まわりの ようす

どこに、どんなたてもものやしせつがあるでしょう。



吉部よこべ小学校のまわり

たかまた  
高俣小学校のまわり

みんなで学校のまわりを歩いて、調べよう。



## 2. 村全体の ようす

みんなが住んでいるむつみ村は、  
どんな村でしょう。土地のようすを  
調べてみましょう。どんなところで、  
どんなものがつくられているでしょ  
う。

### (1) 田の多いところ

むつみ村では、米づくりがさかんです。田が多いと  
ころは、どんなようすでしょう。



ほ場<sup>せい</sup>整<sup>せい</sup>びされた土地



たうあひょうばらだい  
田植えの終わった田 (兵原台)

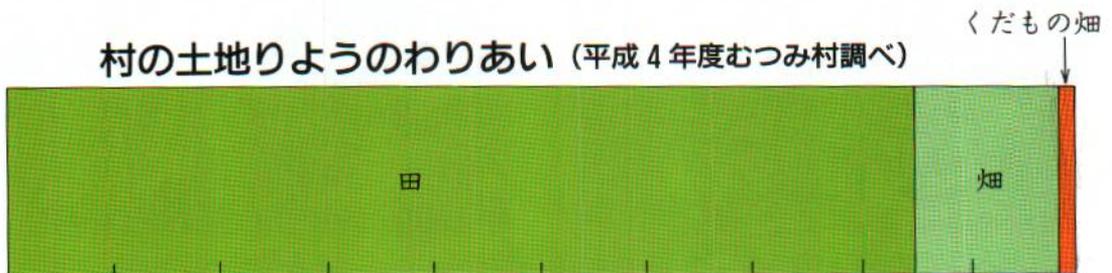
高い土地

ひくい土地



いねがみのった田  
すずくらちく  
(鈴倉地区)

村の土地りようのわりあい (平成4年度むつみ村調べ)



## (2) はたけ 畑の多いところ

畑が多いところは、どんなようすでしょう。

水の少ない台地では、  
どんなものをつくって  
いるのだろう。

千石台

きへ  
吉部

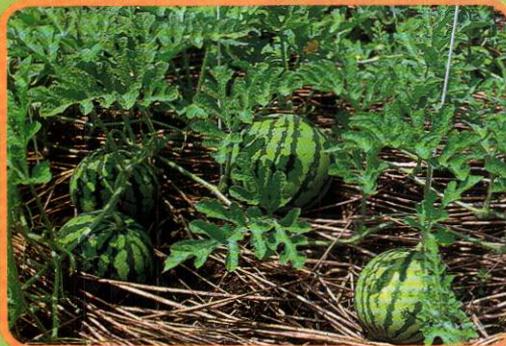
へいち  
平地の畑では、どん  
なものをつくっている  
のだろう。



だいこん



葉たばこ



すいか



メロン

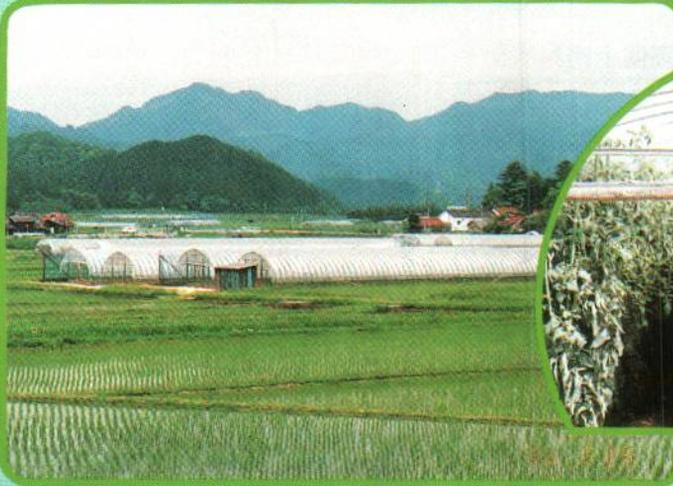


スイートコーン

田の中に、ハウスがあるわ。何をつくっているのかしら。



たかまた  
高俣



あま かしゅう  
雨よけ夏秋トマト

### (3) 山のせまっているところ

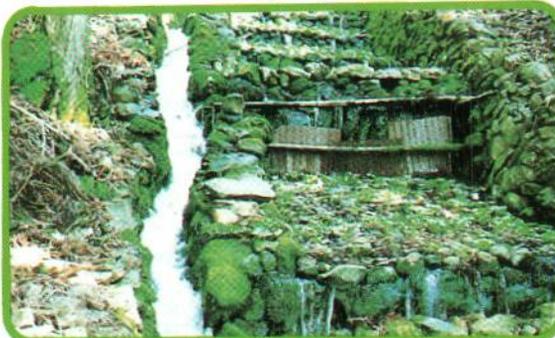
山のせまっているところは、どんなこと<sup>つか</sup>に使われているでしょう。



しょうりんち した  
植林地の下がり



植林



わさびづくりー谷川が流れているところー



しいたけづくり

## (4) じゅうたくや商店しょうてんの多いところ

じゅうたくや商店は、どんなところにあつまっているでしょう。

たかまた しよ ジェーエー ちゅうしん かみいち  
高俣し所、JA高俣を中心に（高俣上市）



むかし、かい道としてさかえたところきべいち（吉部市）



学校や役場やくばを中心に（吉部鈴倉すずくら）



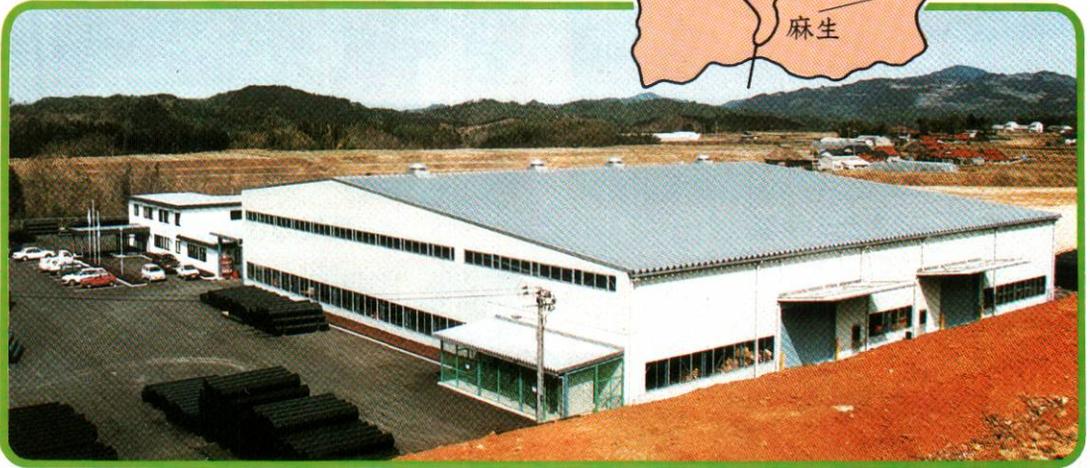
バスの回てん場ひろせを中心に（吉部広瀬）

## (5) 工場のあるところ

大きい工場は、どのあたりにあるでしょう。そこでは、どんなものをつくっているか、調べてみましょう。



作業服をつくっている  
工場（高俣伏馬）



ポリエチレンパイプをつくっている工場（吉部麻生）



わたしたちが住んでいるむつみ村は、どんな村か、もっとくわしく調べてみましょう。

# 3. わたしたちのくらしと商店

しょうてん



## 1. 買い物 しら調べ

わたしたちは、毎日食べる物やくらしに使う物を、いろいろな店で買っています。

わたしたちは、どこで、どんな物を買っているでしょう。



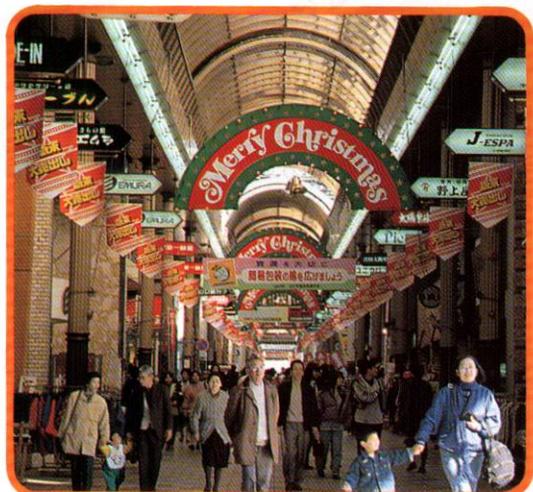
吉部の魚屋



高俣のざっか店

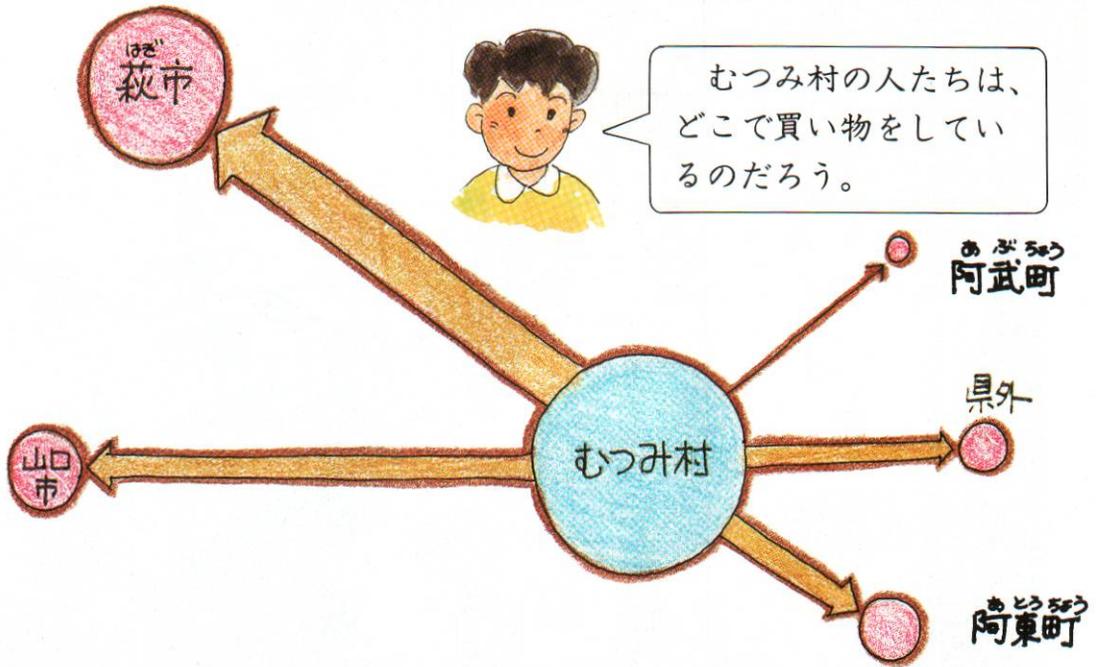


はぎ 萩市のスーパーマーケット



山口市の商店がい

よく買い物をするところ (平成3年度むつみ村調べ)



わたしたちの家の1週間の買い物調べをもちよって、  
学級全体の表にまとめてみましょう。

買い物調べ

	近くの店	スーパーマーケット	デパート	商店街の せん門店	いごう はん売車
食べる物					
着る物					
ごみ・日用品					
学用品・本					
電気器具					
その他の物					

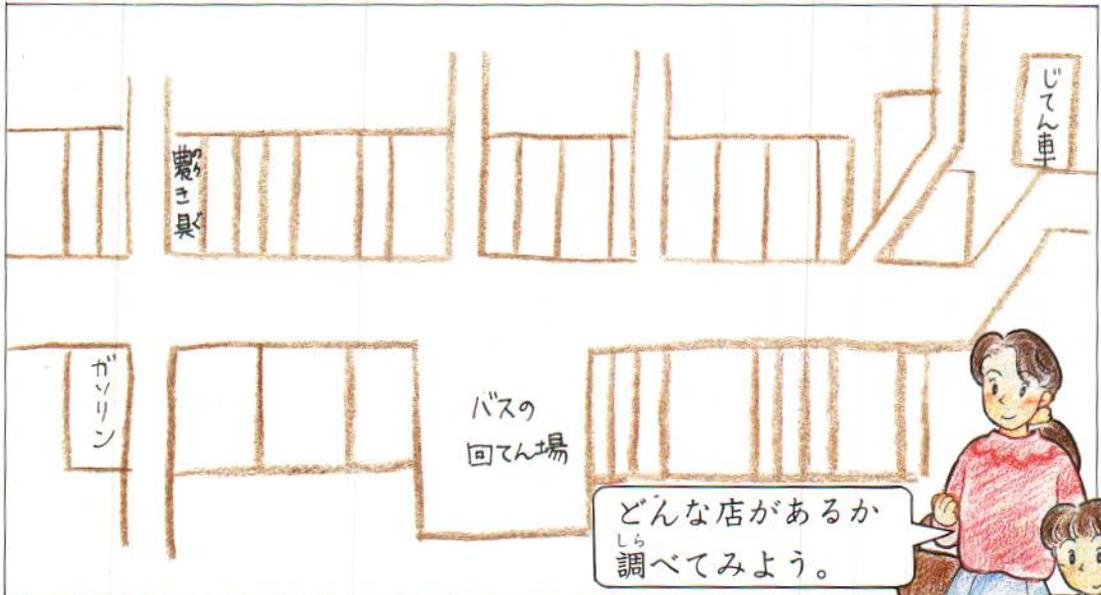


品物によって、買う店にちがいがでてくるのは、どうしてでしょう。

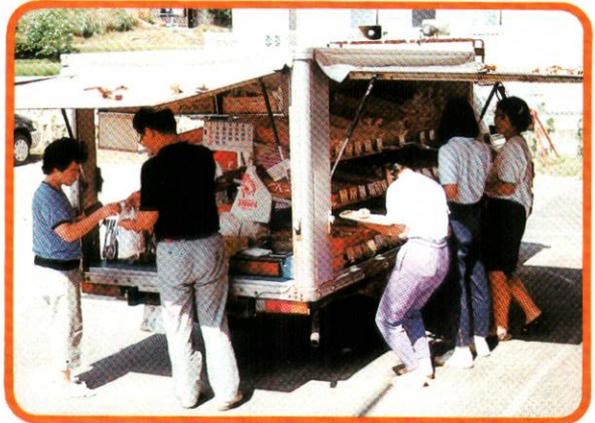
## 2. 近くの しょうてん 商店



家の近くには、どんなしゅるいの店があるでしょう。



い<sup>は</sup>せ<sup>ら</sup>く  
吉部広瀬地区にある商店



いどうはん**ばい**売車



しょうこうかい  
**商 工 会 の お じ さ ん の 話**

商工会では、たくさんの人に村内で買<sup>もの</sup>い物をしてもらうために、話し合いをしています。ファミリースタンプをくばったり、夏と冬に売り出しをしたりして、お客さんを集めるくふうをしています。また、秋には、みなさんもよく知っているふるさとまつりをおこなっています。



大売り出し



ふるさとまつり

### 3. 町の商店

しょうてん

しょうてん  
近くの商店と、ようすのちがう店  
について調べてみましょう。

しなもの  
品物売るために、どんなくふうがさ  
れているでしょう。

## スーパーマーケット



↑ たくさんの品物

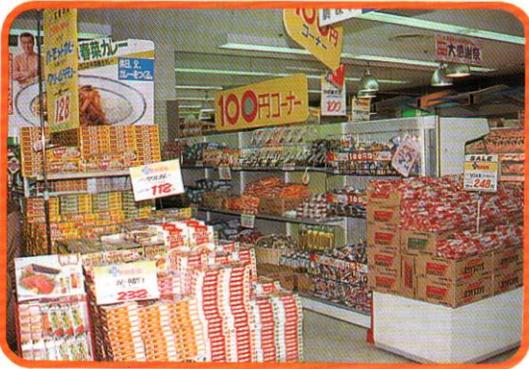


↑ 魚や肉を売るためのじゅんび



↓ とくばいひん  
売品

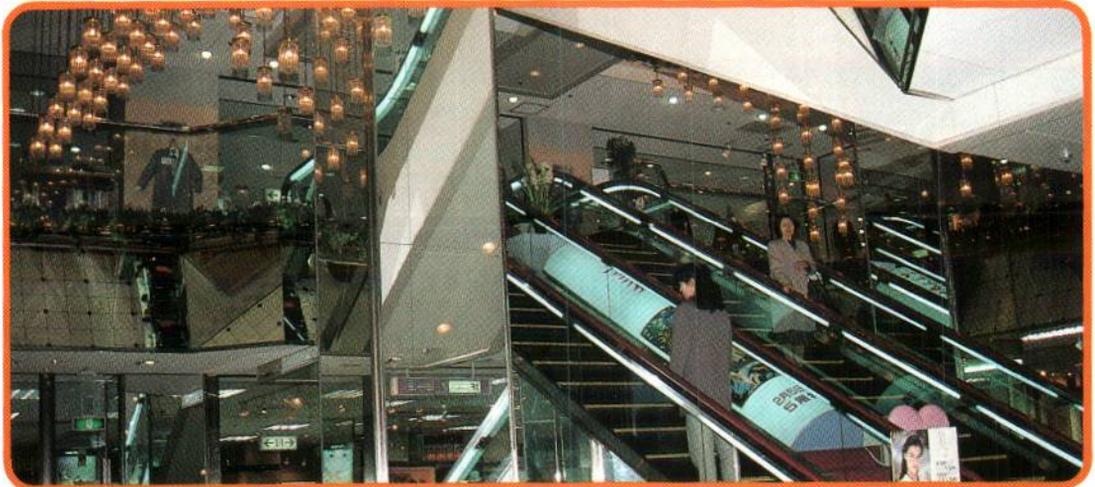
↓ たくさんのレジ



コンビニエンスストア — <sup>しんや</sup>深夜でも買える店 —



デパート



せん門店



しょうてん  
商店がい



↑アーケード



↑いこいの広場



↓カラータイル

↓ちゅう車場



## 4. ほかの土地とのつながり

しなもの はこ  
品物の入っていた箱やラベルを見ると、どこから送られてきた物かがよくわかります。

店で売られている品物は、どこから来ているのでしょうか。

### ●外国から



買い物をするとき、どんなことに気をつければよいでしょう。

- 買い物をするまえ
- 店をえらぶとき
- 品物をえらぶとき

## 4. 村の人々の仕事



### 1. 村の農家<sup>のうか</sup>で つくっているもの

わたしたちが住んでいるむつみ村は、農業<sup>のうぎょう</sup>のさかな村です。むつみ村の農業について調べてみましょう。

むつみ村では、どんな農産物が、どのくらいつくられているのでしょうか。



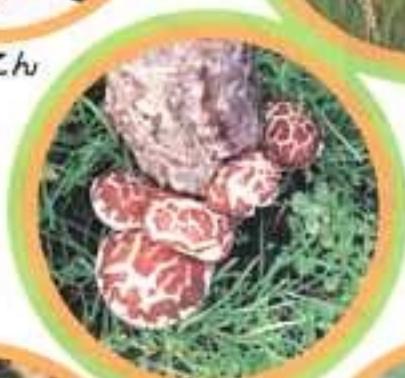
だいこん



米



メロン



しいたけ

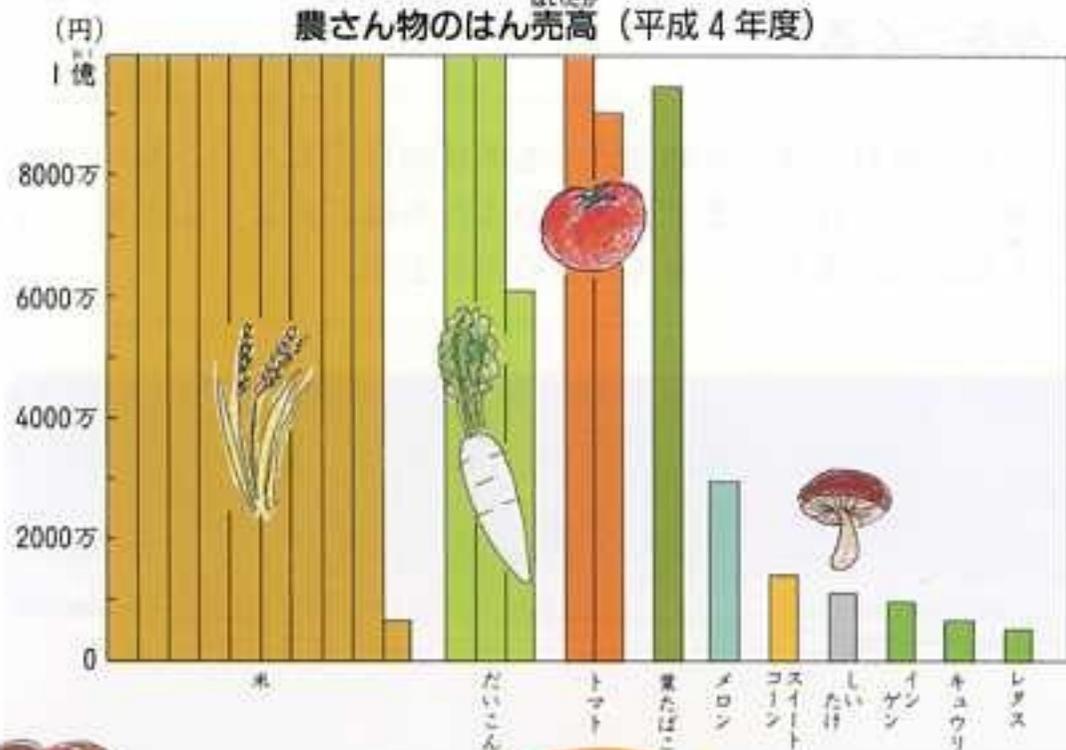


スイートコーン



レタス

ばいばか  
農さん物のはん売高 (平成4年度)



いろいろな作物  
をつくっているのね。



インゲン



トマト



葉たばこ



キュウリ

高候地区

むつみ村

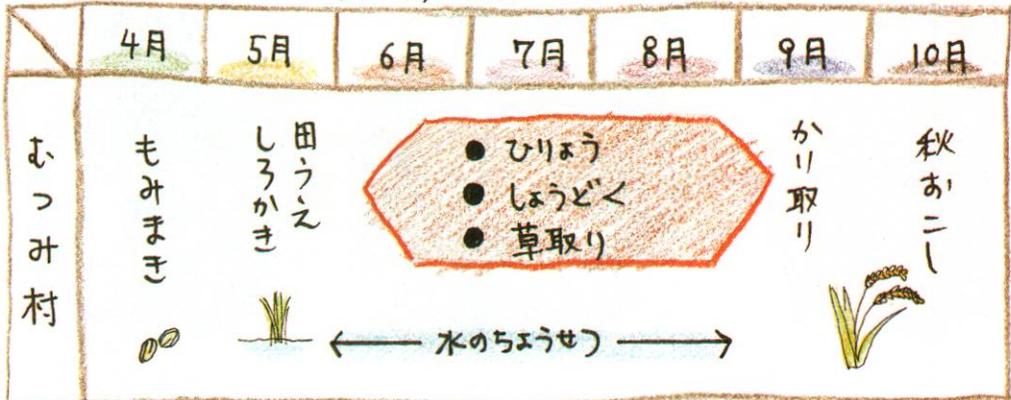
吉部地区

# (1) 米をつくる

むつみ村では、吉部地区でも高俣地区でもたくさんの米がつくられています。農家の人たちはどんなくふうをしながら、米をつくっているのです。



米づくりのこよみ (コシヒカリの場合)





①もみまき



③田植え



②しろかき



④しょうどく



農家のおじさんの話

6月ぐらいになると、3～4日田の水をぬいてかわかし、その後、また水を入れます。この作業を何回かくり返します。そうすると、根がしっかりはり、じょうふないねになります。また、かぶもよく分かれて、米のりょうもふえるんですよ。



水のとり入れ口とはい水口



用水ろと水のとり入れ口

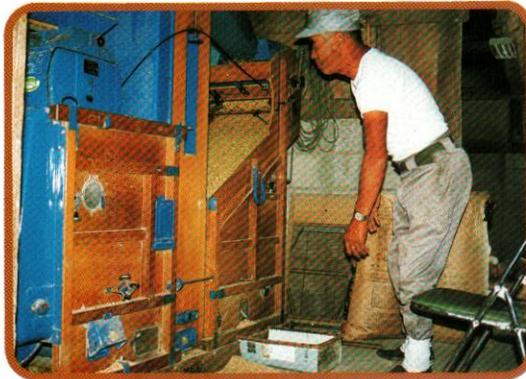
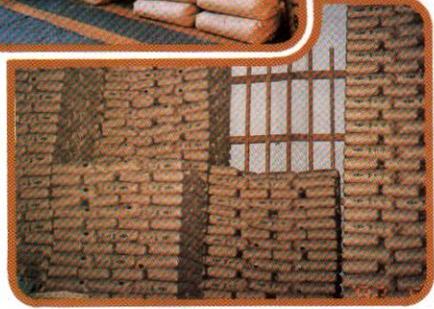


⑤かりとり

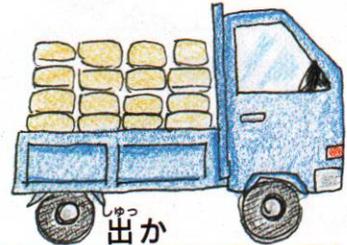


⑦米だし

米のほかん  
(JANETTING)



⑥もみすり



のうか 農家のおじさんの話



むつみ村でとれた米は、どこに送られるか調べてみましょう。

米をつくるときに、化学ひりょうばかり使っていると、よう分のないぼろぼろの土になってしまいます。だから秋、かりとりが終わった後、たいひや切りわらを田の中にすきこんで、春までにくさらせ、よう分たっぷりの土にします。

また、秋に田をたがやすと、冬の寒さで、土の中のがいになるきんをころすこともできるし、さんそを土の中にとり入れることもできるんです。



秋おこし

農家の人たちの米づくりのために、役場やJAでは、どんなことをしているでしょう。



ほ場<sup>せい</sup>整<sup>せい</sup>びされる前の田



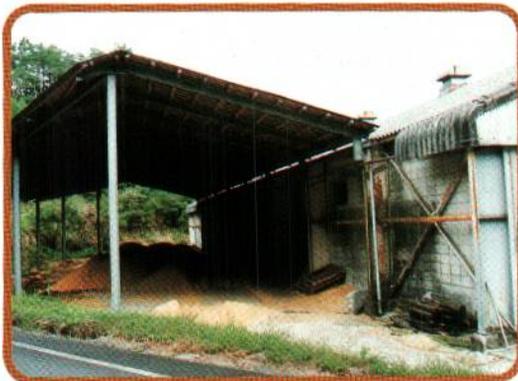
ほ場整<sup>せい</sup>びされた後の田



大がたきかい<sup>のうさぎょう</sup>を使<sup>つか</sup>っての農作業



ライスセンター



たいひセンター

### 役場の人の話



むつみ村では、農業<sup>のうぎょう</sup>をする人が少なくなっています。60才いじょうの人が多く、わかい人が少ないのがなやみです。

これからの米づくりでは、米づくりにかかるお金を少なくし、入るお金を多くするようなくふうが大切です。そのために、ライスセンター<sup>つか</sup>のようなしせつを使ったり、大がたきかい<sup>のうさぎょう</sup>をきょうどうで使ったりします。

また、多くの人に米を食べてもらうために、よく売れるしゅるいの米をつくるようにすすめています。

## (2) スイートコーンとレタスをつくる

吉部地区<sup>ちく</sup>では、スイートコーンとレタスがつくられています。

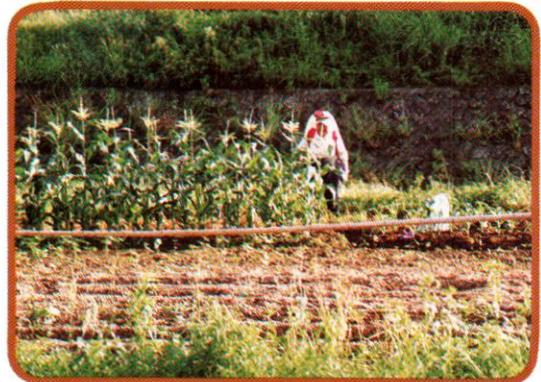
スイートコーンとレタスづくりには、どんなくふうやくろうがあるのでしょう。

### スイートコーンとレタスづくりのこよみ

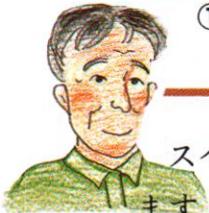
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
スイートコーン				レタス		
土づくり たねまき	まびき	ひりょう しょうどく	たねまき (レタス)	しょうかく (レタス)	しょうどく	しょうかく (レタス)



①まびき後のスイートコーン



②しょうどく

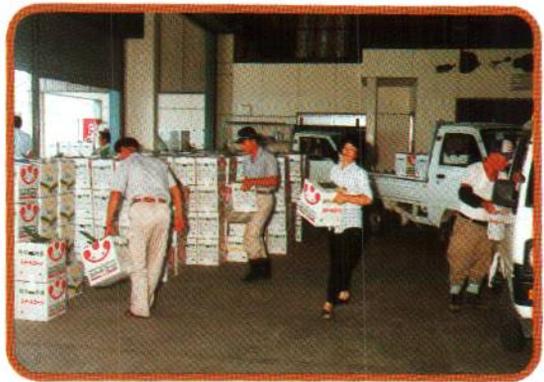


### のつか 農家の人の話

スイートコーンは、せが高くなり、強い風がふくと、たおれてしまいます。だから、天気がとても気になります。また、スイートコーンは、いろいろな虫のがいを受けやすいので、いつも気をつけています。スイートコーンは、1本のみきから1つの実だけとります。のこりは小さいときにかぎとります。



③しゅうかく



④<sup>しゅっ</sup>出か



●スイートコーンのみきがすきこまれた畑



⑤植えつけ



### 農家の人の話

スイートコーンは、ひりょうをよくきゅうしゅうするので、土がきれいになり、後でつくるレタスがさいばいしやすくなります。また、スイートコーンのくきを土の中にすきこむので、土の力もおとろえません。

このように、ちがう<sup>さくもつ</sup>作物をつづけてつくることによって、同じ作物をつづけてつくるおきる病気を、ふせぐことができるのです。



⑥しゅうかく



⑦出か



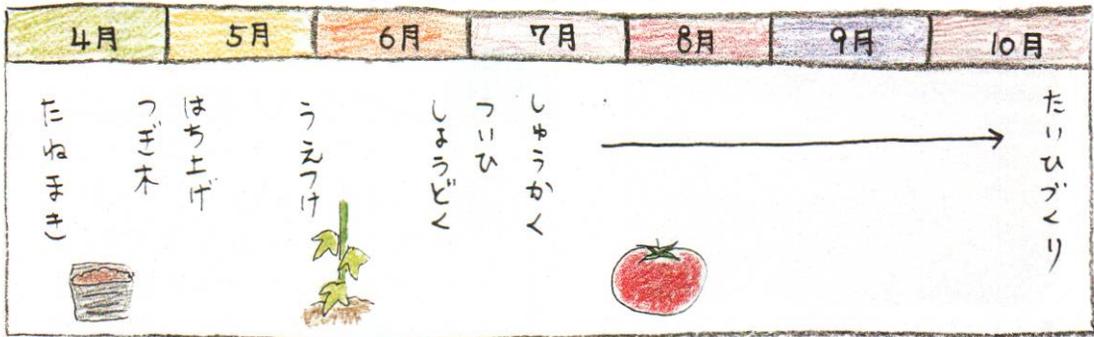
スイートコーンやレタスは、どこに送られているか調べてみましょう。

### (3) <sup>あま</sup>雨<sup>かしゅう</sup>よけ夏秋トマトをつくる

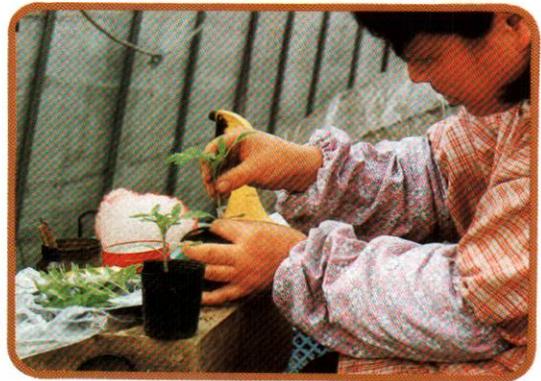
高俣<sup>ちく</sup>地区では、「桃太郎<sup>ももたろう</sup>」というトマトがたくさんつくられています。

トマトづくりには、どことなくふうやくろうがあるのでしょ。う。

#### トマトづくりのこよみ



①たねまき



②つぎ木



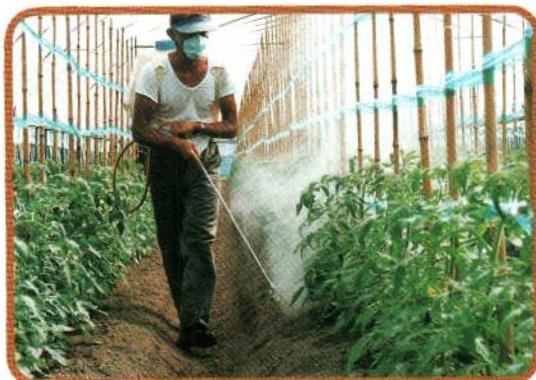
③植えつけ

#### のうか 農家の人の話

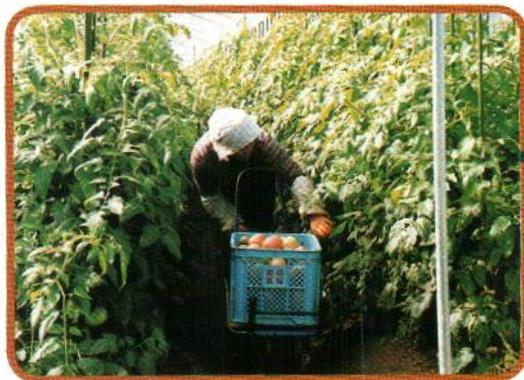


トマトは、小さいうちはおん度のかんりが大へんです。だから、ハウスの中の地面のおん度に、いつも気をつけています。

また、同じ土地に毎年トマトをつくっても、病気が出ないように、つぎ木をしています。



④しょうどく



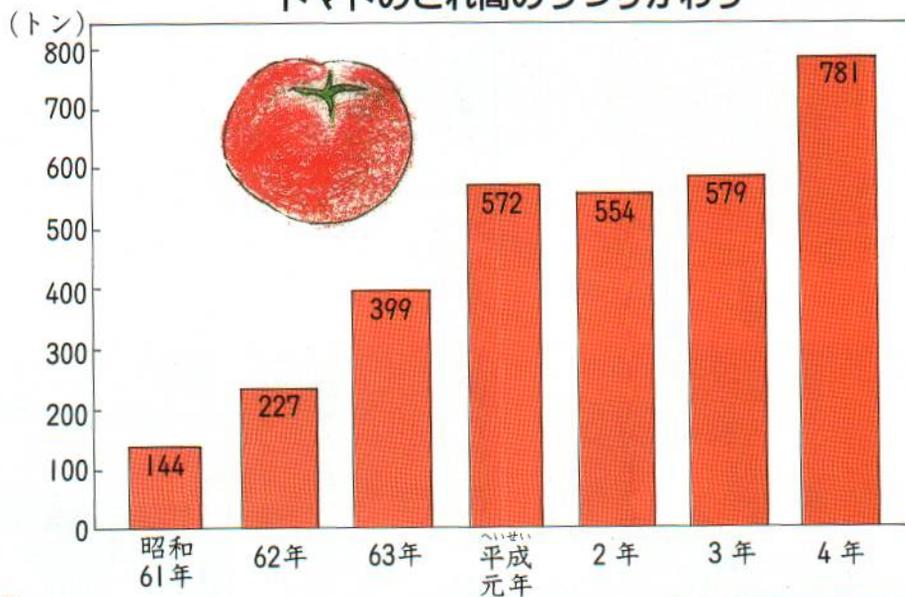
⑤しゅうかく



⑥<sup>しゅっ</sup>出か

高侯でとれたトマトは、どこに送られているのでしょうか。

### トマトのとれ高のうつりかわり



トマトのとれ高がふえたわけを調べてみましょう。

のうか ジェーエー のうきょう  
(4) 農家とJA (農協) とのつながり

農家の人たちはJAをよくりようします。農家とJAは、  
どんなつながりがあるのでしょうか。



しなもの  
品物



きかいのしゅうりをする



JA(高俣)



ほかに  
も、農家  
の人のた  
めに、た  
くさんの  
仕事をし  
ています。



お金をあつかう



ガソリンなどの油を売る

## 2. 村の工場で つくって いるもの

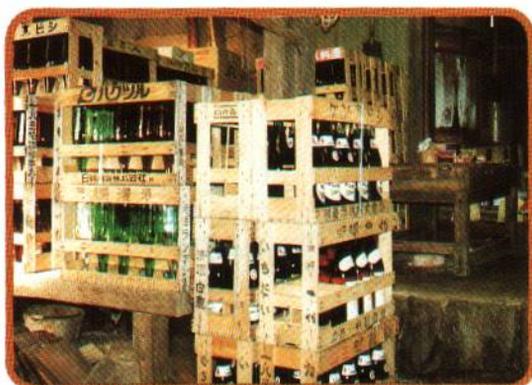
むつみ村には、どんな工場があるか調べてみましょう。また、そこではどんなものをつくっているのでしょうか。



ポリエチレンパイプ (吉部<sup>あそ</sup>麻生)



酒 (吉部<sup>ひろせ</sup>広瀬)



しょうゆ (吉部市)



作業服 (高俣<sup>ふすま</sup>伏馬)



それぞれの工場でどんな作業をしているか、またどんなくろうがあるか、調べてみましょう。

# 5. がわってきた人々の暮らし

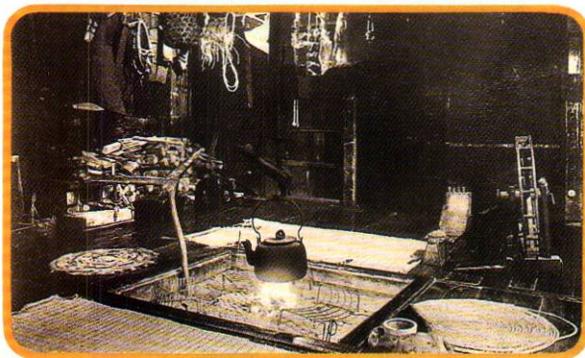


## 1. どうく道具から むかしを 調べる

### (1) むかしの道具

身のまわりにあるむかしの道具を調べてみると、むかしの人たちのちえやくろうがつつあわってきます。

- 古い道具は、どのように使われていたのでしょうか。
- 古い道具が使われていたころの人々の暮らしは、どんなようすだったでしょう。



いろり



#### おばあさんの話

おばあさんの子どものころは、水はいどからくんできていたよ。ごはんは、かまどにまきをくべて、たいていたよ。

台所には、電球でんきゅうが1つついていただけ、かまどから出るけむりのせいで、へやの中はあまり明るくなかったね。食事のざいりょうは、家で作るやさいと、川や山でとったものがほとんどだったね。みそやしょうゆもつくっていたよ。

土間では、夜おそくまで、なわないやむしろづくりをしていたね。

せんたく



むしろづくり



## (2) むかしの農き具のうぐ

むかしは、どんな農き具を使っていたのか、調べてみましょう。



**まぐわ**

牛につけて、田をならす。



**すじひき**

まっすぐに植えるために、線を引く。



**だっこくき**

かりとったいねからもみをとる。



**とうみ** 風を送り、もみの重さでより分ける。



### おじいさんの話

むかしの人、米づくりをするのに、一日中はたらいたものだ。牛や馬がきかいのかわりだったから、どこのうちでも牛や馬をかってたよ。

田植えやいねかりは、近くの人たちと力を合わせてやっていたよ。こしをまげたりのぼしたりしながら、何日も仕事をするのは、つらかったね。とにかく、毎日くらくらくなるまで、田や畑で仕事をしていたよ。

## 2. 暮らしの うつり かわり

むつみ村のようすや人々の暮らしのようすは、100年の間にどのようにかわったでしょう。

明治時代	大正時代	昭和時代			平成
100年前	80年前	60年前	40年前	20年前	
	ひいおじいさん ひいおばあさん のむかし	おじいさん おばあさんのむかし	おとうさん おかあさんのむかし	わたしたち のむかし	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自てん車<small>じんりくしゃ</small>が村に入る</li> <li>● 人力車<small>じんりくしゃ</small>ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 萩・三谷<small>はぎみ</small>間にバスが走る</li> <li>● 村にバスが走る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● せんそう<small>せんそう</small>があつた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● むつみ村<small>むつみ</small>になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いきよ<small>いきよ</small>くができる</li> <li>● ふすま山<small>ふすま</small>にテレビのちゅうけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい役場<small>やくば</small>ができる</li> <li>● むつみ中學校<small>むつみ</small>ができる</li> </ul>



### おばあさんの話

わたしが子どものころは、がたがた道をわらじやげたをはいて、学校にかよっていたよ。

それから、どんどん道路がよくなると、暮らしのようすがかわったよ。学校のようすや、子どもたちのあそびや食事もかわってきたね。

むつみ村は、むかしは、吉部村、高俣村に分かれていたんだよ。そのころと今の村のようすをくらべると、ずいぶんかわってきたよ。

## (1) 馬車が走っていたころ (70~80年前)



米だわらを馬車につんで、<sup>はぎ</sup>萩などへ運んでいた。



りょうがわを木にかこまれ、せまくてきびしいかんじのする道だった。



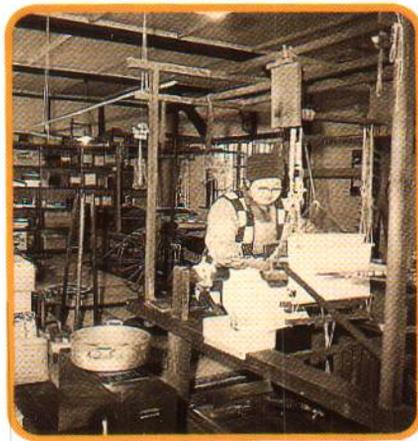
### ひいおじいさんの話

吉部から高俣までの道はせまくて、歩くか自てん車で行き来していたよ。自てん車はねだんが高く、どの家にもあるものではなかったよ。

萩へ行くときも、歩くか自てん車でいったものだ。1日1円50せんで、自てん車をかりて出かけたこともあったよ。村に1台、外国せいのオートバイがあって、話題になったよ。病人が出ると、近所の人が医者をつかえに行き、かごにのせて、来てもらっていたよ。着るものは、母が糸車を使って糸をつむぎ、ぬのおってぬってくれたものだったよ。



大正8年 そつ業写真 <sup>びょうしやしん</sup>



はたおりき

## (2) <sup>もくたん</sup>木炭バスが走っていたころ (50～60年前)



木炭バス



じょう気きかん車



### おじいさんの話

吉部・萩間の定期乗  
合自動車<sup>あいちどうしゃ</sup>が、走るよう

になったのは、大正14

年ごろだった。そのバスもせんそ  
う中には、ねんりょうがなかった  
から、木炭をもちやして走る「木炭  
バス」だったよ。萩や三谷<sup>みたに</sup>に出か  
けるのに、上り坂になると、バス  
をかるくするために、お客はおり  
て歩いてたよ。

山口へは、山口線が通ってからは、  
三谷まで木炭バスで行き、三  
谷から山口までは、汽車で行って  
いたよ。



昭和14年の運動会<sup>うんどうかい</sup>



尋常高等小学校とよばれていたころのそつ業写真<sup>びょうしやしん</sup>



そのころの写真から、どんなことがわかりますか。おじいさんやおばあさんに、村のようすやくらしのようすについて、たずねてみましょう。

### (3) 自動車<sup>の</sup>が人々の乗り物となったころ (30~40年前のころ)

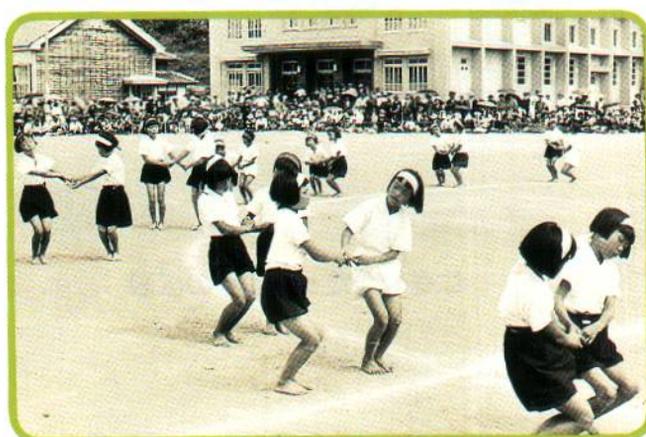
#### むつみ村のうつりかわり

昭和30年、吉部村と高俣村がいっしょになって、「むつみ村」になりました。そのころの人口は、つぎの表のとおりです。

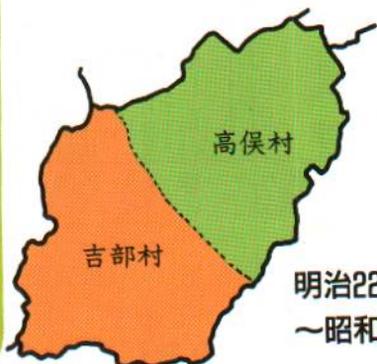
吉部村	3,393人
高俣村	2,804人
合計	6,197人



~明治22年

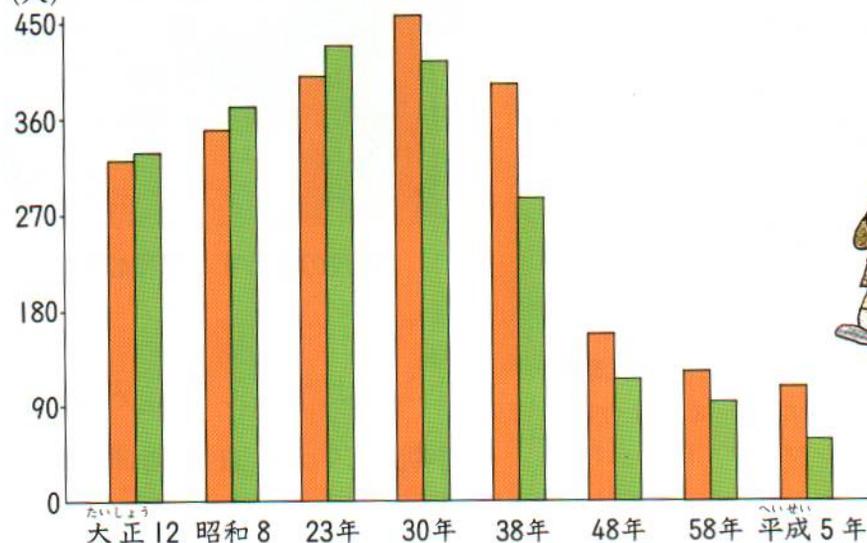


たくさんの人でにぎわう運動会(昭和30年)



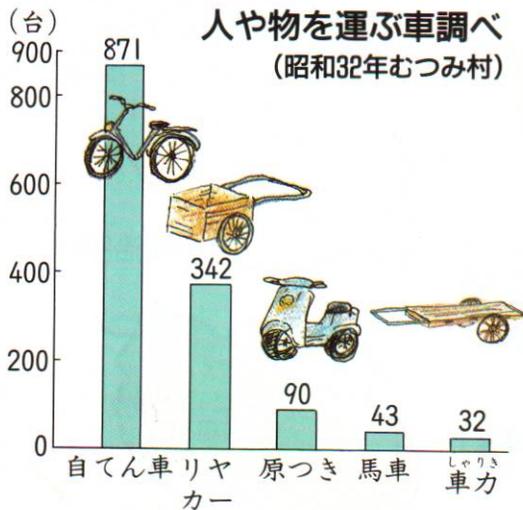
明治22年  
~昭和30年

#### 吉部小学校・高俣小学校の児童数のうつりかわり



このころ、乗り物は、自てん車がほとんどで、原動きつき自てん車もかなり走るようになりました。

近くの村や町へ出かけるときには、定期バスがおもな乗り物として、たくさんの人になりようされました。



にぎやかだったころのひろせ



### バス会社のおじさんの話

むつみ村の人々にとって、バスはたいせつな乗り物だったよ。

昭和30年代は、村には14台のバスがあり、バスの仕事をする人が、50人ぐらいいたよ。吉部広瀬に吉部えい業所があったから、そのころの広瀬は、にぎやかだったよ。

ところが、昭和40年代になって、人口がだんだんへり、自家用車がふえてくると、バスに乗る人がへってきたんだよ。そして、昭和47年にはえい業所からちゅうぎい所になり、車も9台(4台はマイクロワンマン車)にへってしまったよ。



登校のようす (昭和40年)

このようにして、人々は、定期バスから自家用車をりようするようになりました。

## (4) バイパスができて (10～20年前のころ)

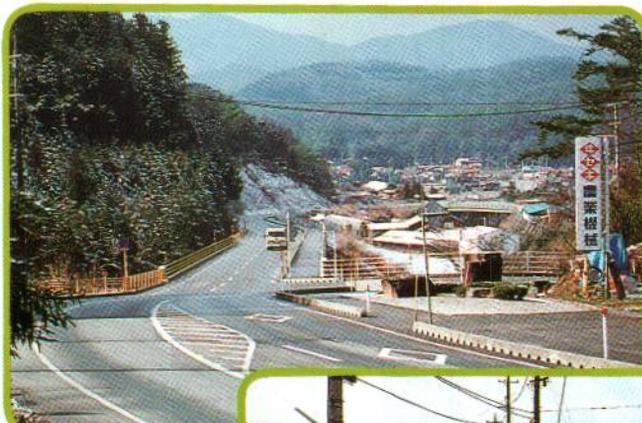
自動車がふえてくると、道路がととのえられてきました。



### —おとうさんの話

バイパスができる  
と道路のこんごつが少なくな  
り、仕事の行き帰りもべ  
んりになったよ。

雪がふっても、屋根から  
落ちた雪で通れないという  
こともなくなったね。山口  
や萩など遠くまで、仕事に  
行くこともできるようになっ  
たからね。



広瀬バイパス  
(昭和62年かい通)



### —<sup>ぎょうせい</sup>そつ業生のおねえさんの作文

高呉小学校ができて、今年でもう百年もたちました。わたしのお  
じいさんやおとうさんやしんせきのおばあさんたちが行った学校で  
す。百年たったしるしに、いくしゅう園のところへ、大きな石ひが、おとうさ  
んたちの力で立てられました。それには「読書尚友」と書かれています。

つぎに、運動場に8つも体育しせつができてうれしいです。わたしは遊び時  
間や日曜日までも、体育しせつを使って遊んでいます。体育しせつは、村の人  
たちのおかげで買われたのだそうです。

(<sup>そつりつひやくしゅうねんきねんし</sup>創立百周年記念誌 2年生の作文より) 昭和51年



学校にのこっている物からも、むかしのようすがわか  
ります。調べてみましょう。

### 3. 村の 古いもの さがし

#### (1) むかしのようすをつたえるもの

むつみ村には、むかしを知る手がかりになるものが、たくさんこっています。

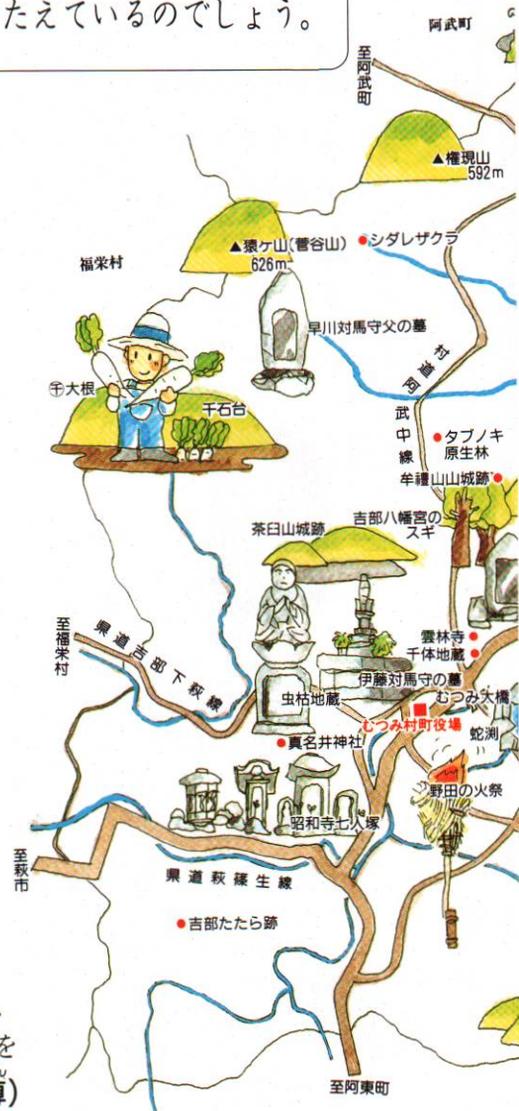
- どこにどんなものがのこっているでしょう。
- どのくらいむかしのものか調べてみましょう。
- それらのものは、むかしのどんなようすをつたえているのでしょうか。



じゅれい<sup>やく</sup>約500年といわれる3本  
の杉の木。(吉部八幡宮の大杉)  
すき はちまんぐう



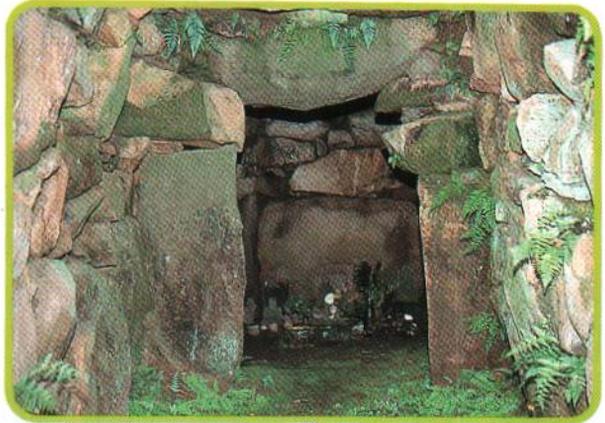
がい虫の発生により、米などがとれなくなり、  
たくさんの人が死んでいった。その人々のれいを  
なぐさめるためにつくられた。(虫枯大地蔵尊)  
むしがらしだいじ そうそん



# むつみ村のおもな文化財



1895年にできたむかしの役場。



横穴式石室には、観音石ぼとけがまつられ、耳がよくなるという言いつたえがある。(穴観音古墳)



明治41年から、下領でつづけられている神楽まい。(神笑座)

## (2) むかしからつづいている行事

むかしからつづいているお祭りや行事には、むかしの<sup>まつ</sup>人々のねがいがこめられています。

- むつみ村には、どのような祭りや行事がのこっているでしょう。
- むかしからつづいている祭りのようすやいわれを、調べてみましょう。



たかさ はちまんぐう  
高佐八幡宮の秋まつり



野田の火まつり



じや  
吉部市の蛇送り



むつみ村ふるさとまつり

むかしからつたわる行事を守って、これからもつづけていくために、人々はどのようなどりよくやくふうをしているのでしょうか。

「むつみ神楽ほぞん会」のおじさんの話



わかい人に神楽をつたえるために、月に2回、子どもたちを集めて、夜、練習をしているよ。

おじさんたちは、自分の仕事をすませて集まるから、つかれているけど、がんばっているんだよ。わかい人で、まいをおどる人が少ないのが、なやみだね。

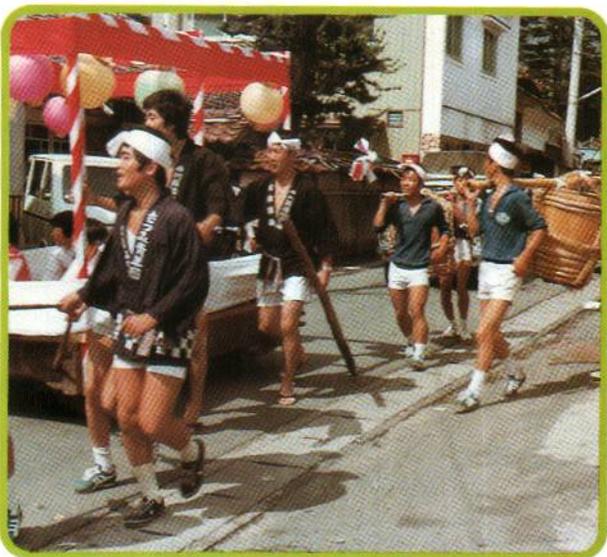


神楽まいのけいこ

「ふるさとをまもる会」のおじさんの話



むかしの人々がやってこられたことを受けついで、にぎやかなお祭りにしようと、わかい人を集めて、じゅんぴをしたり、山車を出したりしているよ。でも、年々集まる人が少なくなっているからさびしいね。



秋まつりの山車



# 6. 住みよいくらしをささえる

## 1. ごみと住みよいくらし

### (1) ふえてきたごみ



家や学校では、毎日たくさんのごみが出ます。

家では、1週間にどんなごみが、どのくらい出るのでしょうか。表にまとめてみましょう。

#### もえるごみ

ごみの種類	ごみの量
野菜くず ごんぱん 紙くず 広告	小さいごみぶくろ 
お菓しの箱 ざっしのふろく 新聞紙	大きいごみぶくろ 

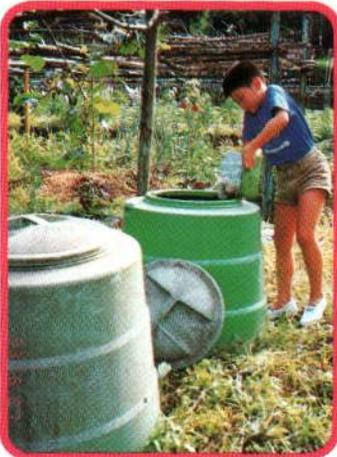
#### もえないごみ

ごみの種類	ごみの量
かんづめのかん	空きかん 
ジュースのかん	5こ
ジュースびん	びん ..2本
せんざいの入れ物	入れ物 1つ
こわれたおもちゃ	おもちゃ ...こ

人々が健康なくらしをしていくためには、たくさんのごみをしまつしなければいけません。

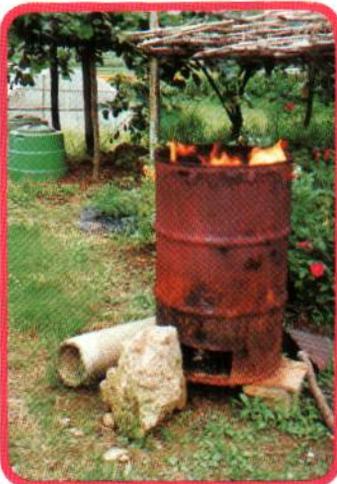
みなさんの家では、どのようにして、ごみをしまつしているのでしょうか。

もえるごみ	もえないごみ
紙くず …… うら山で焼く 生ごみ …… ひりょうにする	ダンボール } …… ごみしゅうじょう所に出す 空きびん }

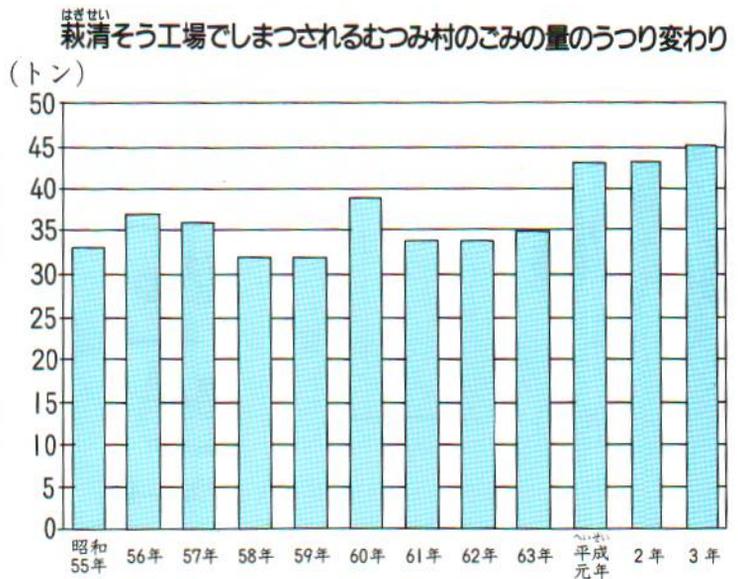


ひりょうにされる生ごみ

ぼくたちの村では、もえるごみは、ほとんど家でしまつしているよ。



庭でもやされるごみ



## (2) ごみの行き先

家では、紙くずを焼いたり、生ごみをひりょうにしたりします。しかし、全部のごみをしまつすることはできません。

家でしまつできないごみは、どうするのでしょうか。

**ごみ収集場**

燃えるもの  
ごみを出す日  
毎週月・金曜日

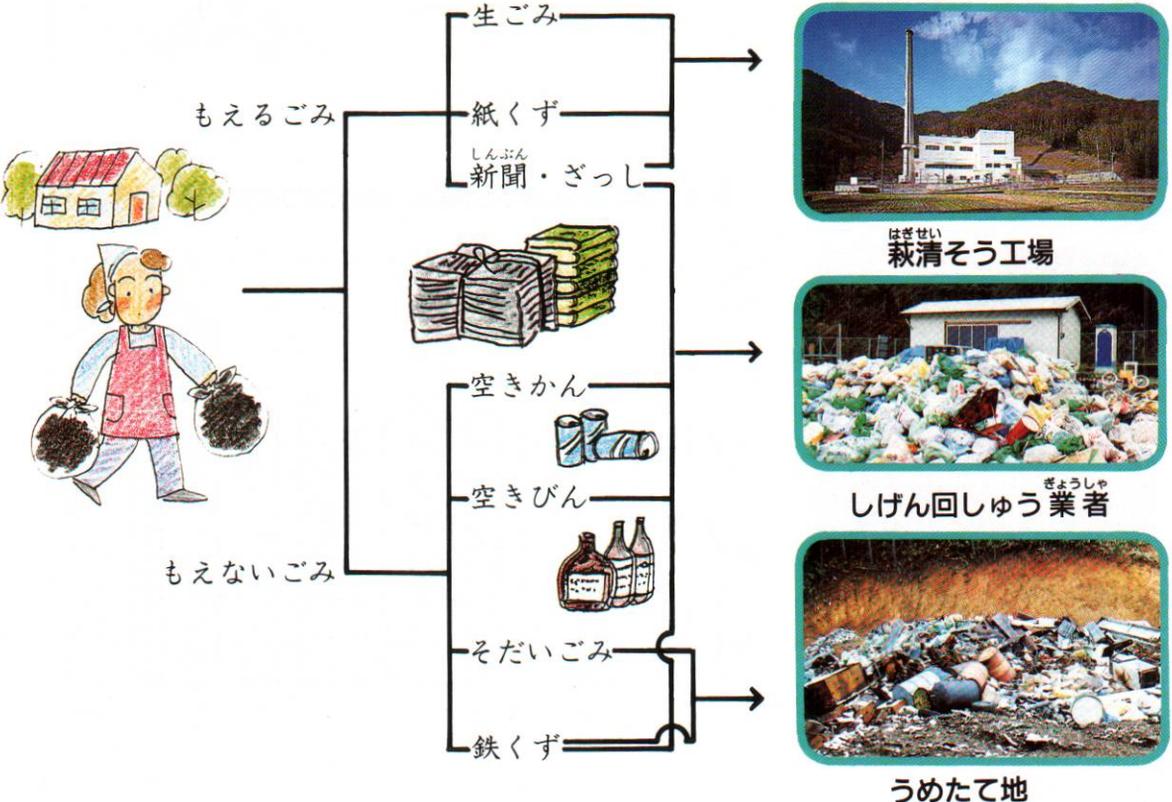
燃えないもの  
毎月  
第3木曜日

**むつみ村**



### ごみしゅう集車の おじさんの話

むつみ村には、ごみしゅう集車が1台あり、毎週火曜日と金曜日に集めて回ります。ふくろがきちんとしまっていないと、ごみがこぼれて大変です。



### (3) うめたて地

じゅうみん か  
住民課の  
おじさんの話



もえないごみは、毎月第3木曜日に集めて、うめたててしょ分します。うめたて地は吉部と高俣にそれぞれ1か所ずつあります。



#### 注意

ここはむつみ村長の家から出る不燃物・燃えないごみの処理場です。限りある処理場であります。きまりを守って正しく捨ててください。

#### ・捨ててはならないもの

工場や事業所等の出る産業廃棄物  
生ごみ 焼却 焼却灰等の燃焼ごみ

#### 土砂

プラスチックゴミ類

他市町村からの移入物

※ 当処理場では産業廃棄物

利用するため分別収集してあります

すので決められた場所に捨ててください

燃焼炉の火災防止のため燃焼炉の火災



うめたてられるごみ

さい利用されるごみ

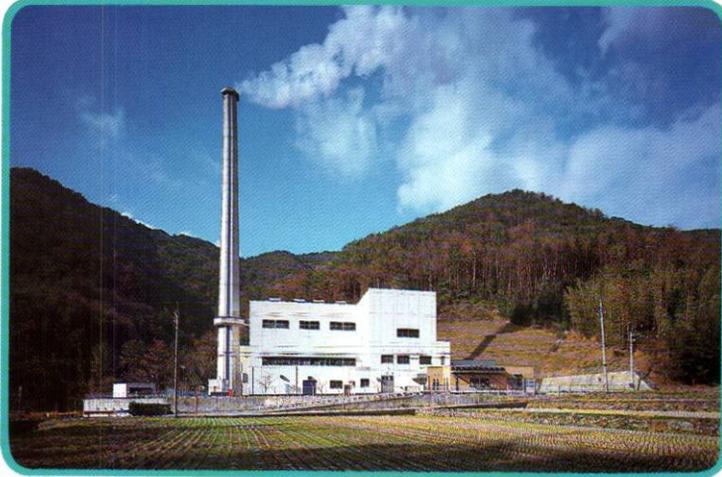


はたら  
うめたて地で働く  
おじさんの話

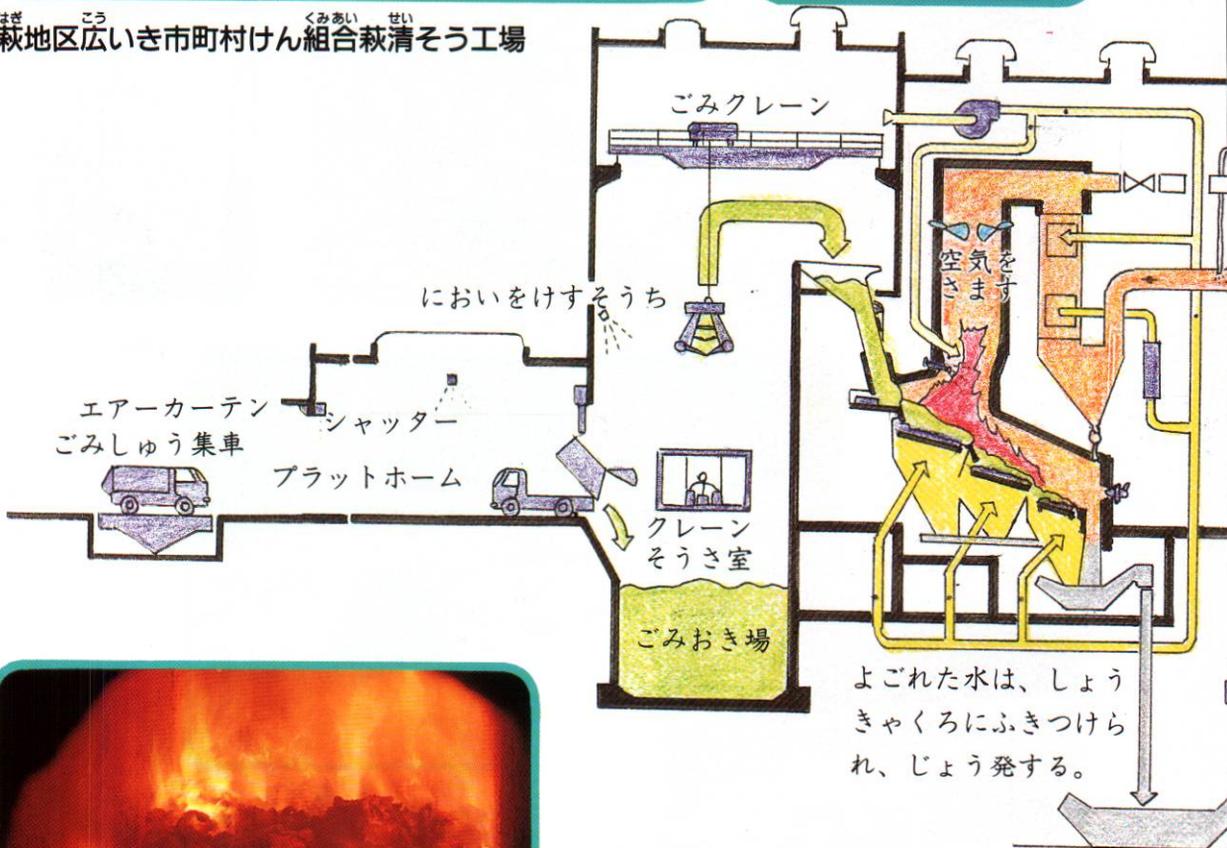


空きかんや空きびんは、別々に分けて、回しゅう業者にわたします。空きびんについたふたも、はずさなければいけません。

# (4) せいそう工場



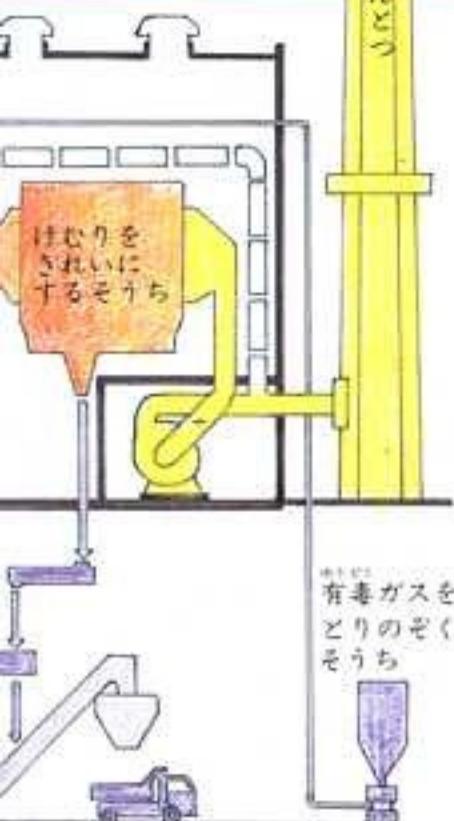
はぎ せい  
 萩地区 さい  
 さい 組合 せい  
 萩地区さいき町村けん組合萩清そう工場



- ごみ
- はい
- 空気
- ガス



運転開始 昭和49年  
 土地の面積 4476.29㎡  
 焼ける量 80t/日(40t/16h×2)  
 関係地いき 萩市 川上村  
 阿武町 むつみ村  
 由方川町 須佐町  
 旭村 福栄村



えんとつの高さは59メートルもあるんだって。だから、下の方ではにおわないだね。



—清そう工場のおじさんの話—

ここでは、1日に65トン（清そう車65台）のごみをしまつしています。10人で交代しながら1日に13時間もごみをもやし続け、1年間で、1万6千トンのごみをもやします。

もえないごみがまじっていると、後で、手で分けて出さなければいけません。

においをふせぐくふうがしてあるんだね。



## (5) ごみのさい利用<sup>りよう</sup>

ごみの中には、きれいにしたり作り直したりすると、また使える物もたくさんあります。



### 住民課のおじさんの話

村では、むつみ村ごみ対さくすいしん協議会<sup>きょうぎかい</sup>をつくり、ごみをさい利用したり作り直したりして、少しでもごみが少なくなるように、どりょくしています。

## むつみ村のリサイクル事業

### ●古紙、アルミかんリサイクル事業

しゅう集日 毎月第1土曜日

しゅう集できるもの

新聞紙<sup>しんぶんし</sup> ざっし ダンボール  
アルミかん



新聞紙の回しゅう

### ●空きかん、空きびんリサイクル事業

しゅう集日 毎月第3木曜日

しゅう集できるもの

空きかん 空きびん 鉄くず  
ガラス どうき プラスチック



リサイクルせっけん作り

### ●はい食油リサイクル事業

公会堂にあるしゅう集かん<sup>こうかいどう</sup>にためて、  
2か月に1度回しゅう業者へわたす。

料理<sup>りょうり</sup>につかった油<sup>けんこう</sup>を、健康かんりセンターへ持っていけば、自分で石けん<sup>けん</sup>に作りかえることもできるんです。



くらしが便利<sup>べんり</sup>になるほど、ごみはふえてきています。  
わたしたちはこれからどんなことに気をつけていけばよいでしょう。

## 2. 暮らしを ささえる水

### (1) たくさん使われる水

わたしたちは、水を飲んだり、顔をあらったり、お風呂に入ったりと、毎日たくさんの水を使っています。水はわたしたちが生活していくために、とても必要ひつようなものです。

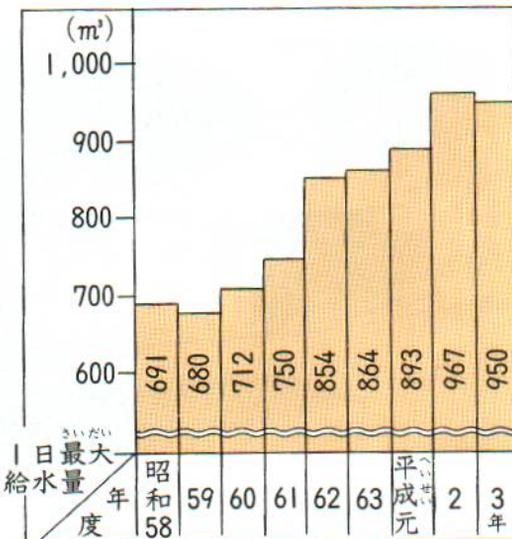
どのような場所で、どのような時に水を使うか、自分たちの家のどこにじゃ口があるか調べて、考えてみましょう。

場所	数	使い方
台所	2	料理 しょっきあらい 飲む
風呂場	2	からだをあらう はみがき せんたく
トイレ	1	手あらい
うらにわ	1	水とり

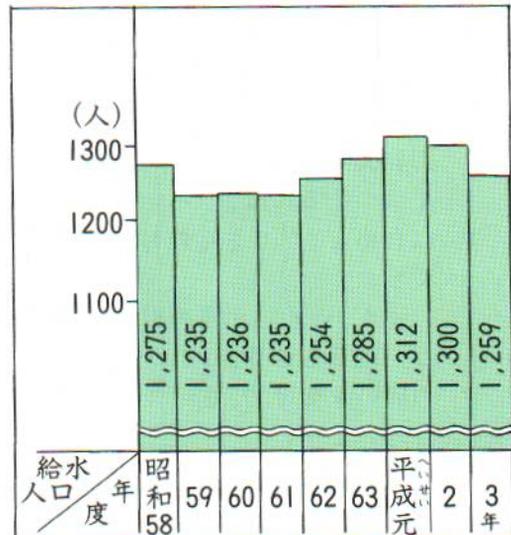
たくさん使うのは、どこかしら。



むつみ村 給水量きゅうすいりょうのうつり変わり



むつみ村 給水人口のうつり変わり

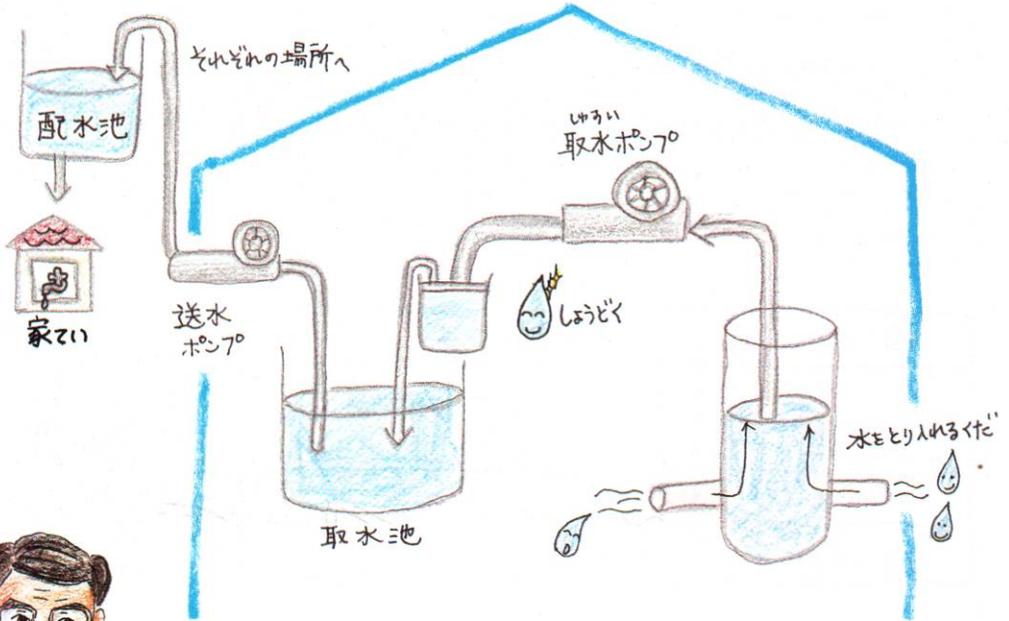


## (2) 水はどこから

家でも学校でも、たくさんの水が使われています。

水は、どこから、どのようにして送られてくるのでしょうか。

### ポンプ場のしくみ



### しせつ課のおじさんの話

むつみ村では、1日に921トンの水が使われます。これはドラムかん4600本と同じ量です。水げんを1つつくるには、いろいろな条件に合格し、たくさんのお金も必要です。

まだ、かんい水道の引かれていない地区もあり、これからも人々の願いを受けて、広げていきたいと思っています。



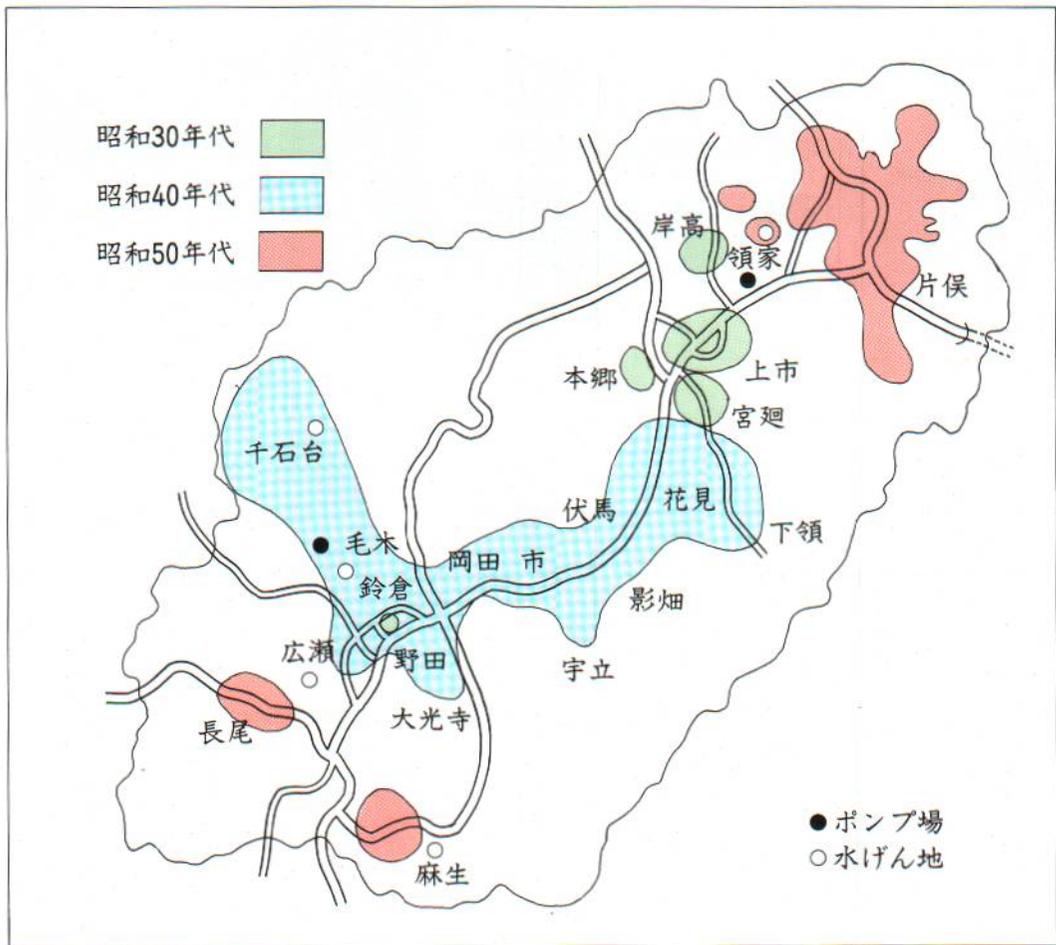
ポンプ場

### (3) 水道のあゆみ

今から約40年近く前までは、むつみ村ではどの家もいどをほったり、谷間から流れる清水を引いたり、わき水をためたりして使っていました。しかし、少し雨がふると水がにごり、雨がふらないと飲み水も足りなくなり、大変こまっていました。そこで、いつでも使えるきれいな水がほしいという人々の願いを受けて、かんい水道の工事が始まりました。

人々の願いはどのようにじつげんされていったのでしょうか。

#### 水道がひかれたはんい

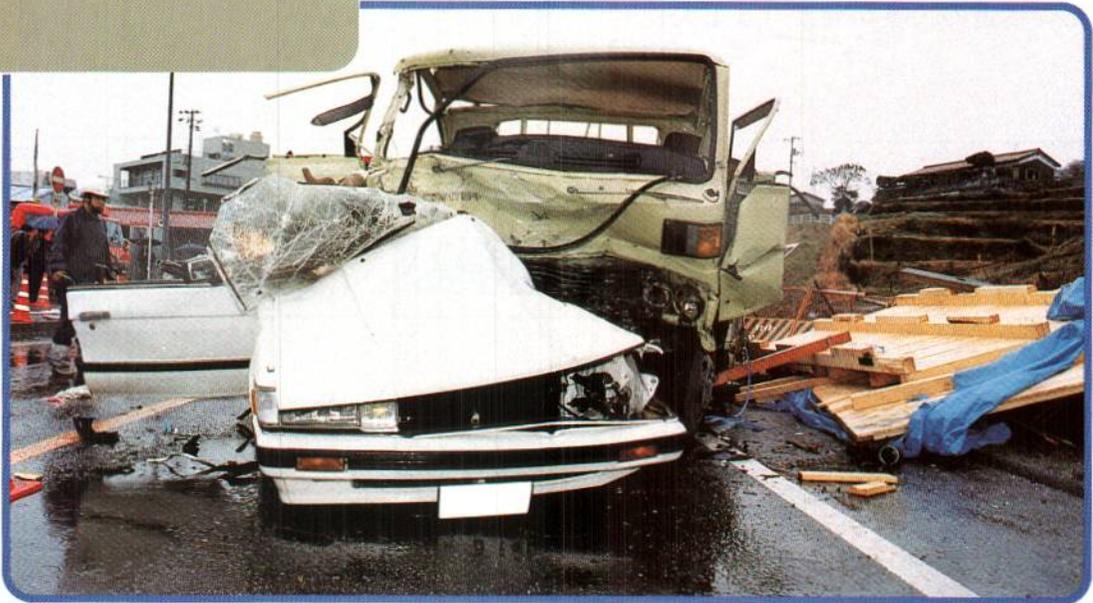


# 7. あんぜん安全なくらし



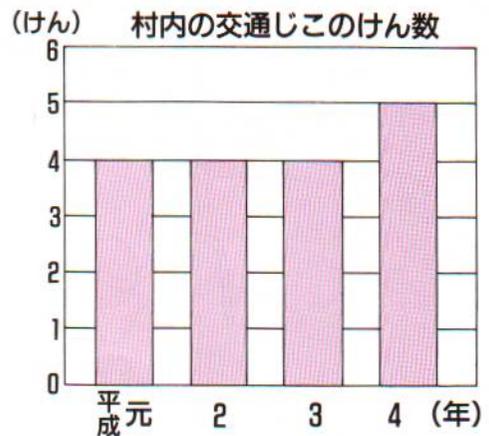
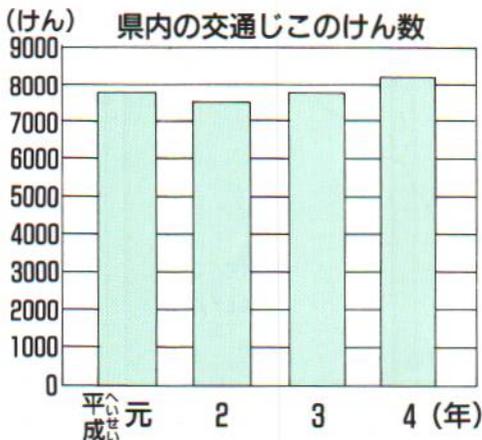
## 1. 交通じこを ふせぐ

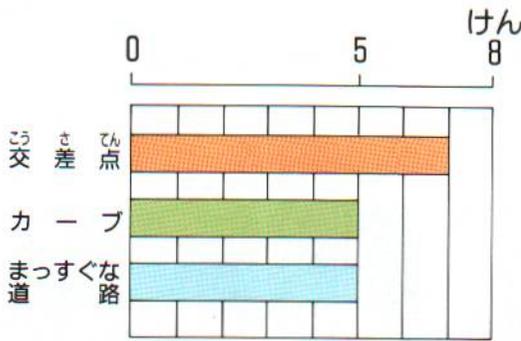
おそろしい交通じこが、毎日たくさん起きています。



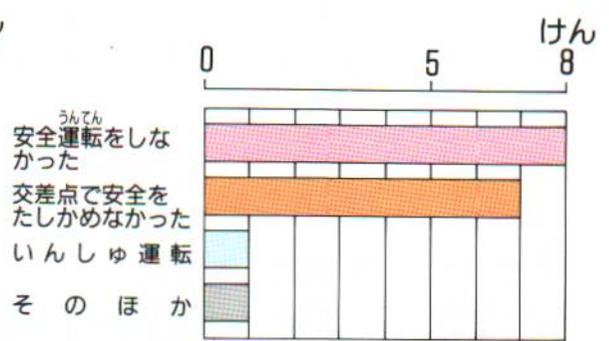
おそろしい交通じこ

山口県内やむつみ村内では、1年間にどのくらい交通じこが、起きているのでしょうか。





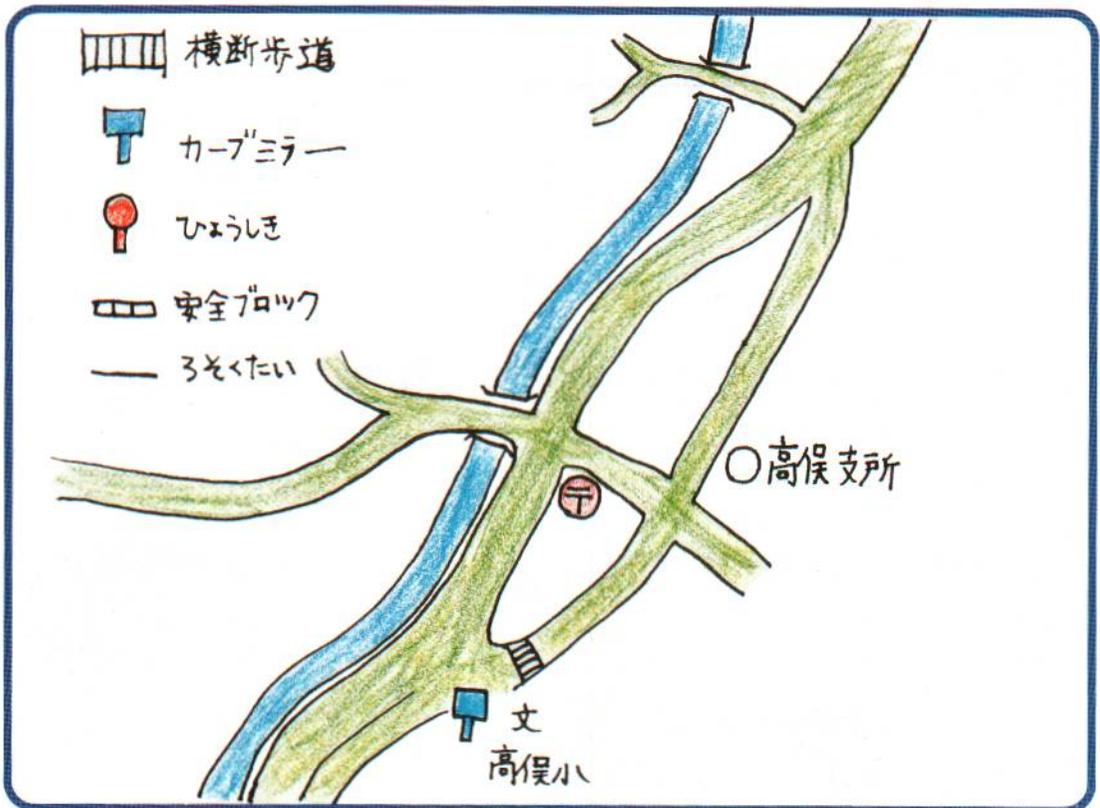
村内の交通じこの発生場所  
(平成元年から4年まで)



村内の交通じこの原因  
(平成元年から4年まで)

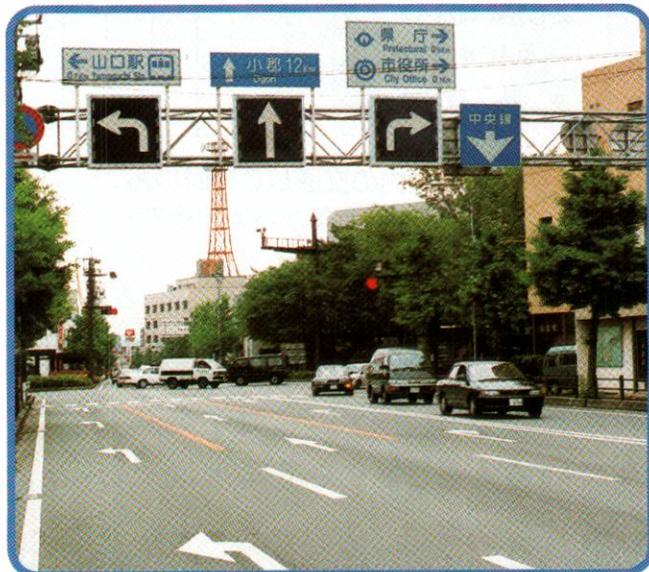
## (1) 交通じこをふせぐしせつ

交通じこをふせぐために、学校のまわりや通学路には、どんなしせつがつくられているか、調べて道路地図にかきこんでいきましょう。

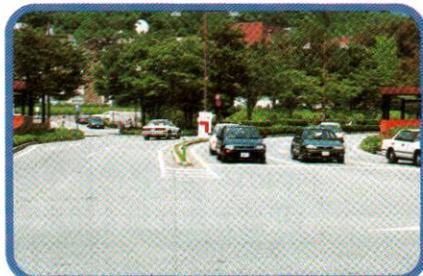


高俣小学校のまわりにある交通安全しせつ

交通量の多い道路には、どんな安全しせつがあるか、調べてみましょう。

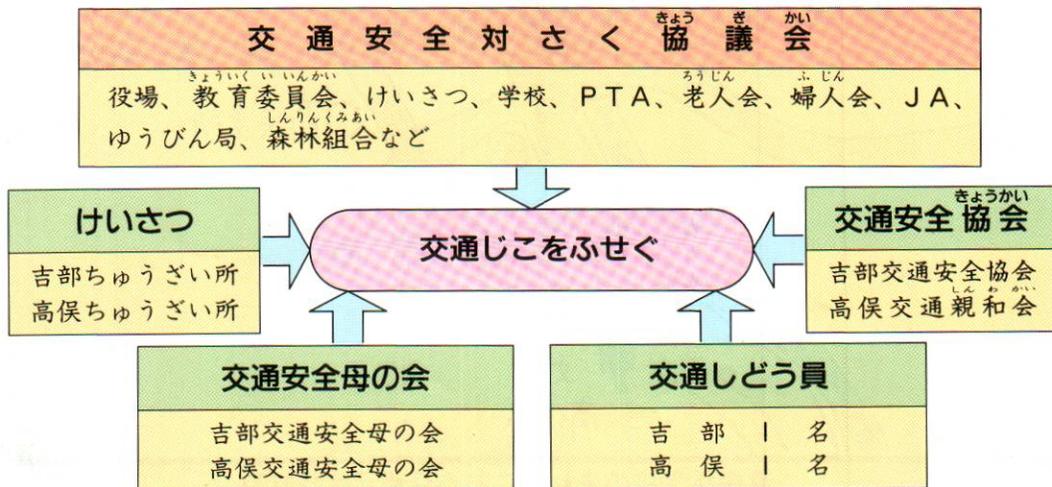


交通量の多い道路



## (2) 交通じこをふせぐ努力

むつみ村では、交通じこをふせぐために、だれが、どんな活動をしているのでしょうか。





## けいさつのお話

むつみ村内のおもな道路は、カーブが少なく、車の量も少ないので、スピードを出す自動車が多いのです。もっと安全運転うんでんに気をつけてほしいと思います。

交通じこをふせぐために、スピードい反やいんしゅ運転の取りしまりをしています。子どもたちの通学や交通教室のしどうもしています。また、安全のために、どんなしせつを、どこにつくったらよいかといったことも、村の人たちと話し合っています。



交通の取りしまり



交通教室のしどう



## 交通安全きょうかい協会のおじさんの話

交通安全協会は、運転めんきょしょうを持っている人の集まりです。交通安全をよびかけたり、カーブミラーをみがいたり、こうしゅう会を開いたりしています。



交通安全のよびかけ



カーブミラーみがき



交通安全対さく協議会のおじさんの話

この会は、阿東町内とむつみ村内の役場、大きい役所、学校、PTA、老人会、婦人会などが集まって、交通じこをふせぐために、きけんなところを調べたり、交通安全のしせつをつけるお願いに行ったりしています。また、それぞれの役所や学校などでは、当番を決めて交通安全をよびかけています。



交通安全対さく協議会のお願いで  
つくられた歩道



PTAの朝の交通しどう



交通しどう員のおじさんの話

村から交通しどう員をたのまれて、います。子どもたちの元気のよいあいさつを聞くと、夏の暑さや冬の寒さをわすれます。



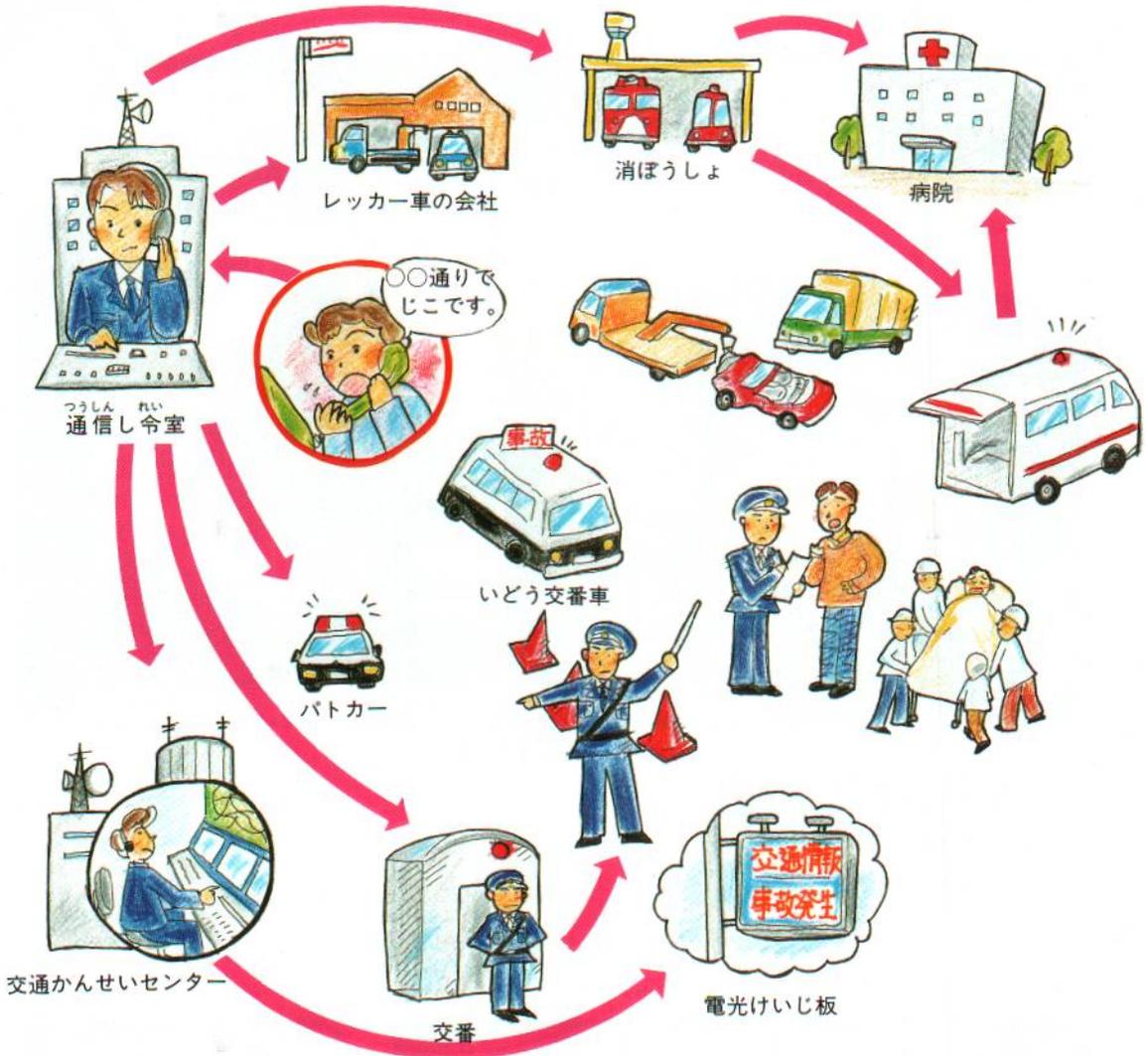
むつみ中学校生徒会の  
“山びこ運動”

生徒会では、マスコットを作って、自動車を運転する人たちに交通安全をよびかけています。



### (3) 交通じこが起きたら

交通じこの110番の電話が入ったら、どこへ<sup>れん</sup>連らくが行き、じこが起きた場所には、どんな人が来るのでしょうか。



じこが起きてから、じこのしよりまで



交通じこをふせぐために、これからわたしたちは、どんなことをしていけばよいのでしょうか。

## 2. 火事を ふせぐ

火事は、人の命をうばったり、人々をふこうにしたりします。むつみ村では、火事から人々を守るために、どのようなことが行われているでしょう。



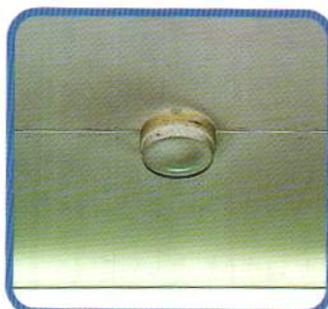
おそろしい火事

### (1) 火事が起きたら

学校の中には、火事にそなえて、どこに、どんなせつびがあるでしょう。学校の図にかき入れてみましょう。



しょうかき  
消火器



なつ  
熱かんち機



ひじょう階段

消火器だけで消せないときは、どうするのでしょうか。



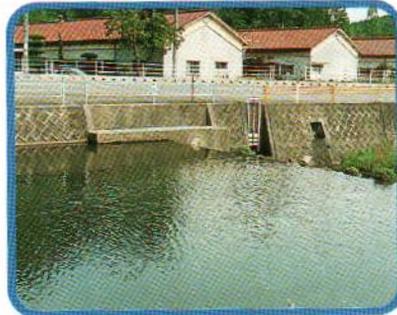
消火せん



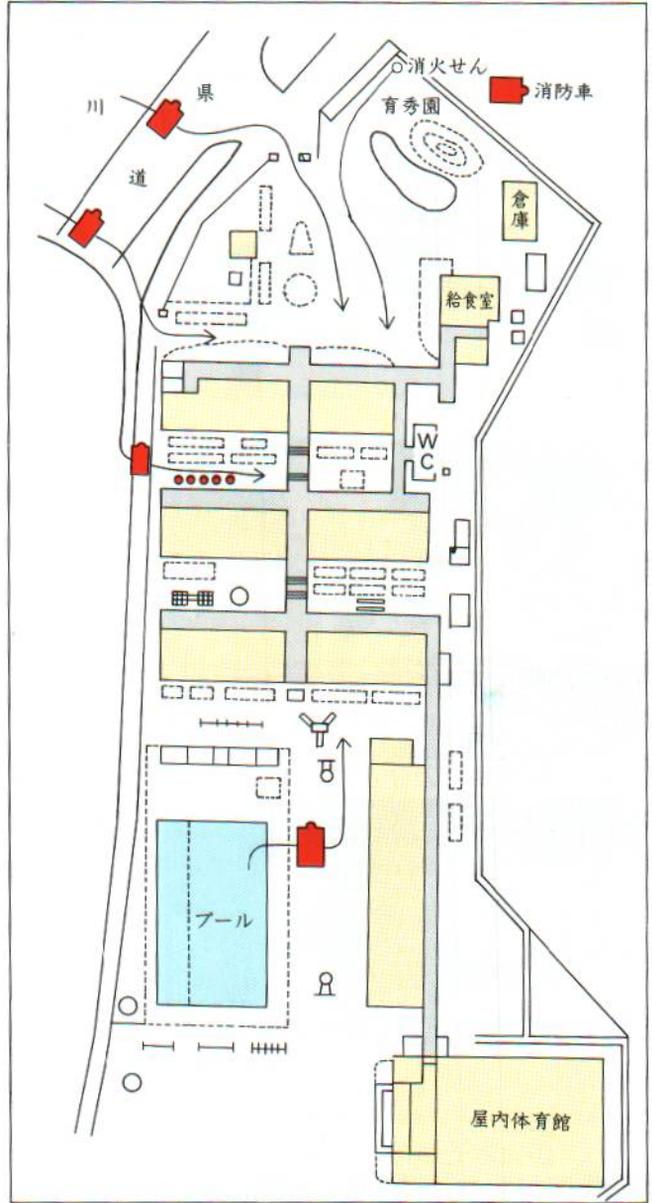
消火せんのおそばにあるホース



ぼうか  
防火用水になるプールの水



防火用水になる川の水



高俣小学校の消火計画

学校の近くにある消火せんやプールの水や川の水も、使うことになっているんだね。



家のまわりにも、火事をふせぐための、しせつやせつ  
びがあるのでしょうか。地図にかきこんでみましょう。



サイレン



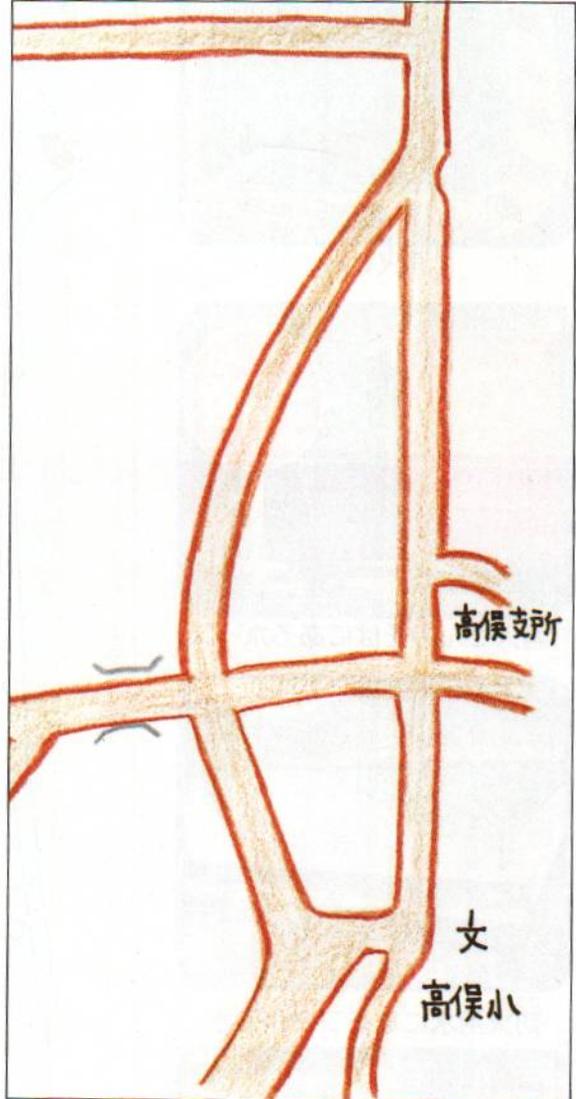
消火栓のひょうしき



ぼうか  
防火水そうのひょうしき



しょうぼうきこ  
消防器庫



高俣上市ふきんの消防しせつやせつび

村内には、消火せんが50か所、  
防火水そうが21か所あるんだよ。

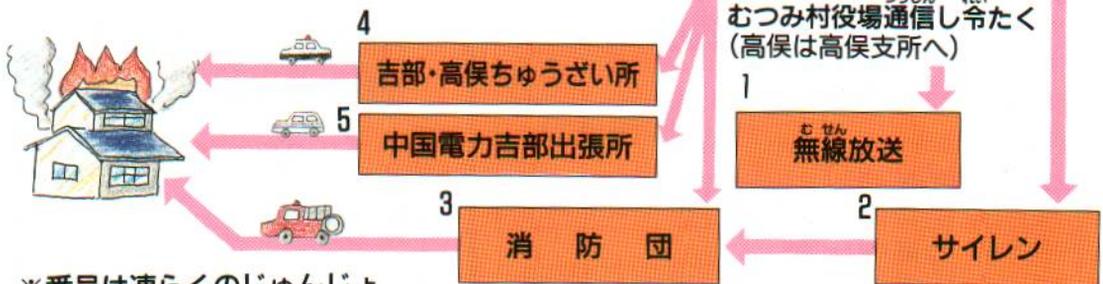


火事の連らくは、どこへ、どのように伝えられるのでしょうか。



もしもし火事です。〇〇の鈴木ですが、台所から火が出ました。すぐ来てください。

119番へ



※番号は連らくのじゅんじょ

## (2) 早く消すためのくふう

連らくを受けた人たちは、早く火事を消すために、どんなことをするのでしょうか。



### 消防団の人の話

昼間は会社や家で働いていますが、無線放送を聞くと、消防服を着て、急いで火事のげん場へかけつけます。

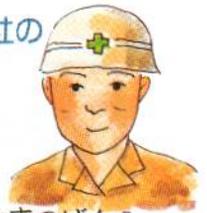
消防車の係は、消防団の倉庫へ行き、消防車でかけつけます。

火事のげん場に着くと、ホースを消火せんにつないだり、川から水をどったりして、もえているところへかけます。



### けいさつのお話

急いで火事のげん場へかけつけ、消防団の人が消火しやすいように、車や人の整理をしたり、火事の原いんを調べたりします。



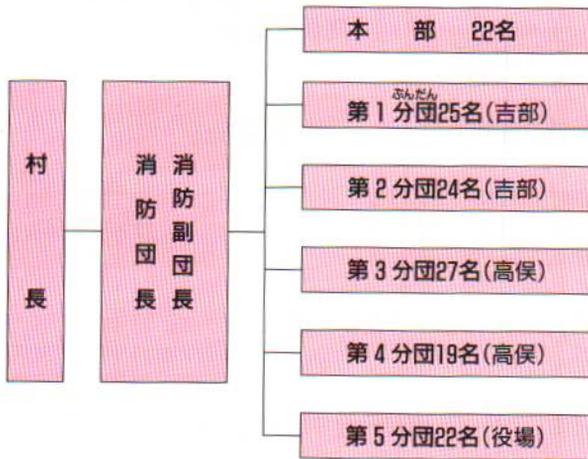
### 電力会社の人の話

急いで火事のげん場へかけつけ、消防団の人が、切れた電線でこまらないように、電線を切ったり、電気を止めたりします。

むつみ村の消防団は、どんなしくみになっているのでしょうか。

大きな町には、いつ火事の連らくを受けても、すぐ火事のげん場へかけつけることができるように、消防しょに出動のじゅんぴをした人たちがいます。しかし、小さな町や村には、消防しょがありません。そこで、地いきの人々によって、消防団がつくられています。

### むつみ村消防団のそしき



### 消防団のおもな仕事

消防団の仕事には、火事を消すことのほかに、大水や地しんなどのさい害が起きたとき、人を助けたり、きけんな所を調べたりする仕事もあります。



消防団の人は、日ごろどんな活動をしているのでしょうか。



消防車の点けん (月2回)



消防くんれん (年4回)



火さい予防のよびかけ (2か月に1回)



消火せんの点けん (月2回)



むつみ消防音楽隊

各分団には、消防車が1台ずつあります。

### (3) 大きな火事になったとき

火事が大きくなりそうな場合、どうするのでしょうか。



むつみ村と協力<sup>きょうりやく</sup>の約束<sup>やくそく</sup>をしている市町村



むつみ村では、火事が大きくなりそうなときは、近くの市や町や村の消防しょや消防団に来てもらい、協力<sup>けいり</sup>して消すようにしているんだよ。

### (4) 火事をふせぐため

山口県内の火事のおもな原因 (1988~1992年) 山口県調べ

たき火	コンロ	たばこ	火あそび	ほう火	ふろ	ストーブ	えんとつ	その他
-----	-----	-----	------	-----	----	------	------	-----

火事の原<sup>げん</sup>因<sup>いん</sup>は、ちょっとした不注意が多いようです。わたしたちは、どんなことに気をつけたらよいでしょう。



役場では、秋から春にかけて、毎日無線放送<sup>むせん</sup>で戸じまりと火の元の点けんをよびかけています。このほか、村の広ほうでも、気をつけるようによびかけています。



むつみ村広ほう

## 8. きょうどを開いた人々



### 1. きょうどの 発てんに つくした 人々

むかしの人々は、きょうどを住みやすくするために、あれ地を開こんしたり、教育や文化の発てんに力をそそいだりしてきました。

わたしたちの村では、どのような苦勞やくふうがあったのでしょうか。

### ● せんこくだい 千石台の開発

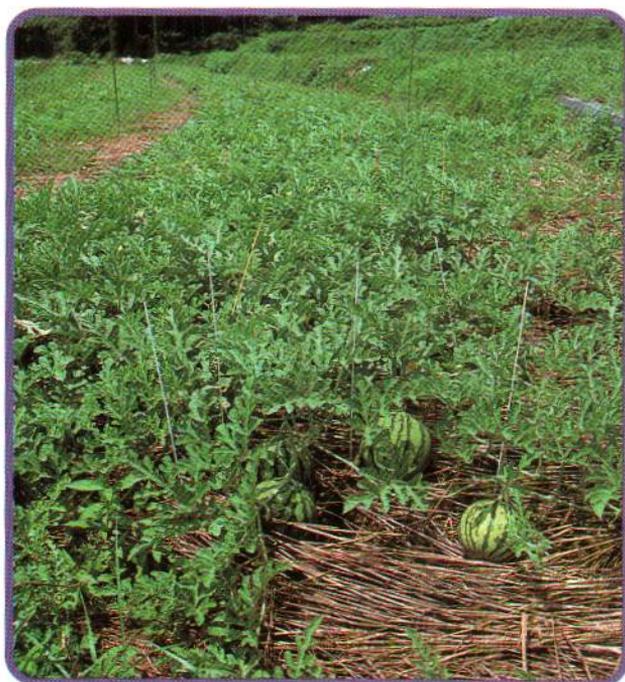


げんざいの千石台のようす

げんざい、どんな農作物をつくっているのでしょうか。



だいこん



すいか



スイートコーン

だいこんづくりが成功するまでには、どんな努力や苦  
労があったのでしょうか。

かわの みつお せいこう せんごくだい おも  
河野三男さんの『千石台の想いで』より

…入植したところは畑も少なく、ソバを植えつけるのがやっどであつた。その後、植えつけられた主な作物は、きつまいも・かぼちゃ・陸稻・じゃがいも・だいず・あずき・落花生など、食料となるもの、また肥料があまりいらない作物であつた。畑の面積がしだいに増えていくなかで、食料となる作物から、売ってお金になる作物を作るようになった。その代表が煙草であつた。煙草は、千石台で中心の作物となり、畑の面積も増えていった。しかし、煙草中心の経営となると、大きな畑がいくつも必要で、1年間をとおして作業をしなければならず大変であつた。

夏に作物を作るのが中心の千石台では、煙草のほかにキャベツやだいこんを植えていたが、夏に気温が低くなるのを利用して、だいこんの栽培がしだいに増えていき、今では中心の作物になっていった。



だいこんあらい



出 か



だいこんを生産し、安定した出かをめざすためには、  
どんな問題があるのでしょうか。

千石台が開発<sup>かいはつ</sup>され始めたころは、どんなようすだったのでしょうか。

## 入植者の人数

昭和(年)	21年	22年	23年	24年	25年
入植者の人数	44人	17人	3人	3人	2人

### 河野三男さんの「千石台の想いで」より

…開こんど小屋づくりの両方の作業をしなければならず、両方ともなかなかはかどらず、8月の下旬<sup>げじゅん</sup>に、私が防府<sup>ほうふ</sup>より家族<sup>かぞ</sup>を呼んだ時は、私の小屋は屋根を青かやでふいただけで、床<sup>ゆか</sup>も、まわりのかこいもなく、土間<sup>ね</sup>でごろ寝のじょうたいであった。床板<sup>ゆかいた</sup>にする材料がないので、ささをかり、たばねて横木になわでしばりつけ、中央にいろりを作り、冬は生木を一日中もやして、木がもえつきた時にいろりこたつにし、そのまわり<sup>ね</sup>に寝てその冬をしのいだ。冬のまきを十分たくわえることもできなかったので、毎日雪の中を生木をかっては暖<sup>たん</sup>をとり、妻<sup>つま</sup>たちは炭<sup>すす</sup>だわらをあんで生活<sup>ひ</sup>費としていた。



千石台の開発のほかに、郷土<sup>きょうど</sup>の発<sup>はつ</sup>てんに力をそそいだ人がおられるかどうか調べてみましょう。

## 2. 新しい 村づくり

村をもっと発てんさせるために、  
今でもいろいろなことがおこなわれ  
ています。

### —— 21世紀にむけて ——

#### 『ゆたかな心とみどりのある里』

“めぐまれた自然かんきょうを生かし、みんなが安心して  
だれでも住みたくなる活力ある村”づくり



地いきの人々は、どんな村にしたいという願ねがいをもっ  
ているのでしょうか。

自分たちの身のまわりで進められている、新しい村づくりのための仕事の様子を調べてみましょう。

## みりよくのある新しい産業づくり さんぎょう



やさい出かセンター



ほ場整備

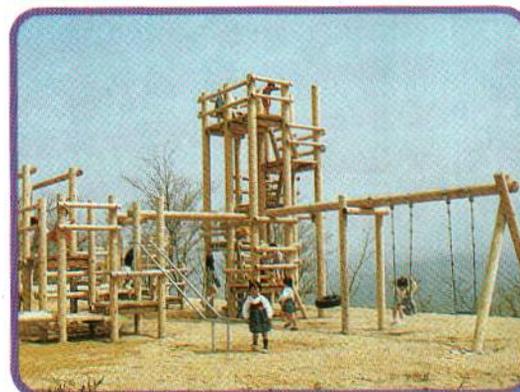


企業ゆうち

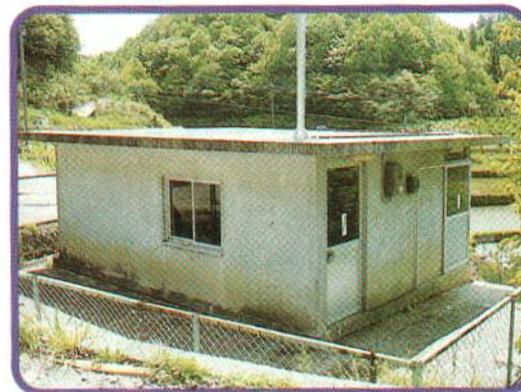


観光開発

## かいてきな生活 かんきょうづくり



ネムの丘の遊具



かんい水道の水げん地



むつみ村えいじゆうたく



道路もうの整び

健康づくりと生きがいのある福し



健康<sup>かんり</sup>センター



そうこうけんしん  
総合検診



一人ぐらしのお年よりをほう問



べんとう  
弁当づくり

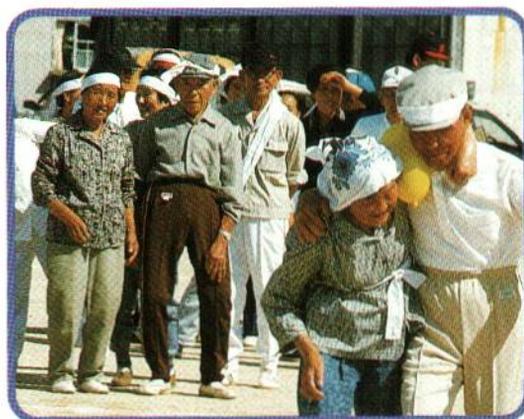
## 住みよい地いき社会づくり



むつみ中学校



ふれあいのつどい



ようち園児・高れい者スポーツ大会



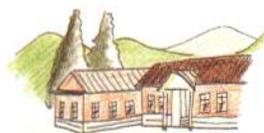
議会

わたしたちのきょうどを發てんさせるために、むかしも今も、たくさんの人々が努力しておられます。

わたしたちのきょうど「むつみ村」を、もっと住みよい、りっぱな村にしていくために、これからわたしたちは、どうすればよいかを考え、みんなで話し合ってみましょう。

# むつみ村のうつりかわり(年表)

西暦	時代	年	おもなできごと
1869	明治	2	○吉部市に <sup>いち ばんせいしゃ</sup> 晩成舎という <sup>ごうこう</sup> 郷校がつくられる。
1873		6	○吉部市小学、 <sup>ながお</sup> 長尾小学が開かれる。
1874		7	・吉部市ゆうびん <sup>きょく</sup> 局が開かれる。
1876		9	・日曜日が休日、土曜日が半休となる。 ○高佐小学、 <sup>かたまた</sup> 片俣小学が開かれる。 ○長尾小学が <sup>しわた うつ</sup> 志和田に移り、新しく志和田小学となる。
1881		14	○吉部市小学が吉部小学校、志和田小学が志和田小学校、 <sup>いくしゅう</sup> 育秀小学が育秀小学校、片俣小学が片俣小学校となる。
1884		17	○片俣小学校が、育秀小学校の分校となる。 ○志和田小学校、 <sup>むかいがわ ひらかしげ</sup> 向側分校、平賀重分校が吉部小学校の分校となる。
1887		20	○吉部 <sup>じんじょう</sup> 尋常小学校、育秀尋常小学校となる。
1889		22	・ <u>吉部<sup>かみ しも</sup>上・下村が合<sup>がっ</sup>ぺいして吉部村、高佐<sup>かみ しも</sup>上・下村、片俣村が合<sup>がっ</sup>ぺいして高俣村となる。</u> ・吉部、高俣に <sup>しょ</sup> じゅんさちゆうざい所がおかれる。 ・吉部、高俣 <sup>やくば</sup> 村役場が開かれる。
1895		28	・吉部村役場が新しくたてられる。
1898		31	○吉部 <sup>こうどう</sup> 尋常高等小学校となる。
1900	33	○育秀尋常高等小学校となる。	
1904	37	・自てん車 <sup>じんりきしゃ</sup> がはじめて村に入る。	
1907	40	・人力車 <sup>じんりきしゃ</sup> ができる。	
1911	44	○育秀尋常高等小学校が高俣尋常高等小学校となる。	
1917	大正	6	・山口線が山口から <sup>しのめ</sup> 篠目まで通じる。
1918		7	・ <u>萩から<sup>みたに</sup>三谷まで<sup>のりあいていき</sup>乗合定期自動車が走り出す。</u>



西暦	時代	年	おもなできごと
1918	大正	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口線が三谷まで通じる。(4月)</li> <li>山口線が徳佐まで通じる。(11月)</li> </ul>
1921		10	<ul style="list-style-type: none"> <li>高俣ゆうびん局ができる。</li> </ul>
1922		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口線が津和野まで通じる。</li> </ul>
1923		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車が吉部村に入る。</li> <li>山陰本線がかい通する。</li> </ul>
1924		13	<ul style="list-style-type: none"> <li>広瀬から江崎まで乗合定期自動車が走り出す。</li> </ul>
1925	昭和	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>長門三隅から萩まで鉄道がしかれる。(4月)</li> <li>萩から東萩まで鉄道がしかれる。(11月)</li> <li>吉部にはじめて電灯がつく。</li> <li>乗合定期自動車萩・紫福線が吉部広瀬から三谷までのばされる。</li> </ul>
1926		15	<ul style="list-style-type: none"> <li>高俣村の大部分に電灯がつく。</li> </ul>
1933		8	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話がはじめて通じる。</li> </ul>
1941	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校が国民学校となる。</li> <li>大きなせんそうが始まる。</li> </ul>	
1945	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>せんそうが終わる。</li> </ul>	
1946	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>千石台のかいたくが始まる。</li> </ul>	
1947	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国民学校が、吉部、高俣小学校となる。</li> <li>○吉部、高俣中学校が開かれる。</li> <li>消防団ができる。</li> <li>農業協同組合ができる。</li> </ul>	
1949	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高俣中学校の校しゃが新ちくされる。</li> <li>高俣小学校じ童数が最高となる。(450人)</li> </ul>	



西暦	時代	年	おもなできごと
1949	昭和	24	○吉部小学校の各教室にラジオ放送しせつがつけられる。
1950		25	・キジヤ台風により死者が出る。
1951		26	・吉部村しんりょう所が開かれる。 ○学校の水道しせつができる。
1952		27	・東台のかいたくが始まる。 ・千石台でだいこんさいばいが始まる。 ○吉部小学校に教室だんぼう用として、大がた火ばちが入る。
1955		30	・高俣村かんい水道ができる。 ・吉部、高俣村が合ぺいしてむつみ村となる。
1956		31	○むつみ村立吉部小学校、むつみ村立高俣小学校となる。 ○各教室でストーブのし用を始める。
1957		32	○高俣小学校校しゃ、給食室ができる。 ○小学校の完全給食（パン・ミルク・おかず）が始まる。
1958		33	○吉部小学校南校しゃ（木ぞう二階だて）、給食室ができる。
1959		34	○吉部小学校じ童数が最高となる。（562人）
1960		35	・山口自衛隊がむつみえん習場のし用を始める。
1961		36	○吉部小学校各教室にテレビがつく。
1962		37	○吉部中学校屋内体育場ができる。 ・村内の道路のほそうが始まる。
1963		38	・1～2月大雪がふる。 ・むつみ村商工会ができる。



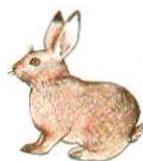
西暦	時代	年	おもなできごと
1963	昭和	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道9号線が小郡<small>おごおり</small>から阿東町<small>あとうちょう</small>まで通じる。</li> <li>○高俣中学校の新しい校しゃができる。</li> </ul>
1965		40	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吉部小学校屋内体育館ができる。</li> </ul>
1966		41	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吉部、高俣中学校副食<small>ふくしょく</small>（おかず）給食が始まる。</li> <li>・集中<small>しゅうちゅう</small>ごう雨で家がこわれたり、山がくずれたりする ひがいが出る。</li> </ul>
1968		43	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴倉<small>すずくら</small>で火事が発生し、家が4戸<small>こ</small>やけ、同時に江良<small>えら</small>で山火事も起きる。</li> <li>○吉部、高俣幼稚園<small>ようちえん</small>ができる。（5歳児<small>さいじ</small>のみ）</li> <li>・吉部地区有線放送<small>ゆうせんほうそう</small>が始まる。</li> </ul>
1969		44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHKむつみテレビ中けい局<small>ちゅうきょく</small>ができる。</li> <li>・村章<small>そんしょう</small>ができる。</li> </ul>
1970		45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつみ村森林組合<small>しんりんくみあい</small>ができる。</li> <li>○小学校教室のたんぼうが石たんストーブ<small>せき</small>から石油ストーブ<small>せきゆ</small>にかわる。</li> </ul>
1971		46	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校教室にけい光灯<small>こうとう</small>がつけられる。</li> <li>○吉部中学校新ちく校しゃ<small>しんこう</small>ができる。</li> <li>○高俣小学校プールができる。</li> <li>・吉部かんい水道ができる。</li> <li>・高俣地区農村しゅうだん電話<small>のうそん</small>ができる。</li> </ul>
1972		47	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吉部中学校プールができる。</li> <li>・集中<small>しゅうちゅう</small>ごう雨により道路や河川<small>かせん</small>にひがいが出る。</li> <li>○高俣小学校の各教室のテレビがカラーとなる。</li> </ul>
1973		48	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小、中学校のつくえ、いすがスチールせいになる。</li> </ul>



西暦	時代	年	おもなできごと
1973	昭和	48	○吉部小学校ができて百年目の記念式典がおこなわれる。
1975		50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農みんけんしゅう所、しんりょう所が新しくできる。</li> <li>・老人憩いの家ができる。</li> </ul>
1976		51	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍛治屋交差点にしん号きを取りつけられる。</li> </ul> <p>○吉部小学校グラウンドが新しくできる。</p> <p>○高俣小学校ができて百年目の記念式典がおこなわれる。</p>
1977		52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉部地区の電話がダイヤル式になる。</li> </ul> <p>○吉部小学校鉄きんコンクリート二階だての新校しゃができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉部市バイパスができる。</li> </ul> <p>○幼稚園2年ほ育が始まる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防長交通吉部事む所が広瀬から伏馬にうつる。</li> </ul>
1978		53	<p>○高俣中学校屋内運動場ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高俣地区の電話がダイヤル式になる。</li> </ul> <p>○小学校でごはん給食が始まる。(週2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回むつみ村ふるさと祭りが開かれる。</li> </ul>
1979		54	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口放送むつみテレビ中けい局が伏馬にできる。</li> </ul>
1980		55	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B &amp; G海洋センターの体育館ができる。</li> <li>・むつみぼうさい無線放送が吉部地区で始まる。</li> <li>・冷夏、長雨による農作物のひがいが出る。</li> <li>・集中ごう雨によるさい害が発生する。</li> </ul>
1981		56	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B &amp; G海洋センターのプールができる。</li> </ul>
1982		57	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつみぼうさい無線放送が村内でいっせいに始まる。</li> </ul>
1984		59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村木(ひのき)、村花(こぶし)が決まる。</li> </ul>



西暦	時代	年	おもなできごと
1985	昭和	60	・村ちょうしゃ、 <small>のうそんかんきょうかいぜん</small> 農村環境改善センターができる。
1985		60	・ <small>そんみんか</small> 村民歌、 <small>おんど</small> むつみ音頭ができる。
1987		62	・ <small>そんじゅう</small> 村獣(ノウサギ)、 <small>そんちよう</small> 村鳥(キジ)が決まる。
			・高俣に <small>そん</small> 村えいじゅうたくができる。
	・ <small>ふすま</small> 伏馬山に、 <small>おか</small> ネムの丘キャンプ場ができる。		
1989	平成	1	・ <small>けんしょう</small> 村民憲章ができる。
			・ <small>ひろせ</small> 広瀬バイパスができる。
			・ <small>はなみ</small> 花見バイパスができる。
			・吉部に村えいじゅうたくができる。
			・ <small>あそう</small> 麻生工業だん地ができる。
1990	2	・ <small>たいふう</small> 台風19号によるひがいが出る。	
1991	3	・ <small>とびいし</small> 飛石グリーンスポーツしせつ(電気の里キャンプ場)ができる。	
1992	4	○吉部、高俣中学校がはい校になり、むつみ中学校ができる。 ・第2土曜日が休みとなる。(学校週5日せい)	



## あとがき

この副読本は、3・4年生の社会科で、わたしたちの住んでいるむつみ村のようすについて、学習するのに役立ててもらうために、つくったものです。

なるべくしたしみやすいものにするために、かん字を少なくし、写真・さし絵・地図・統計グラフなどの資料を多くとり入れるなどのくふうをしました。

みなさんは、この本で、郷土むつみ村の古い時代のことや、今のようす、これからのことなどを学習し、また、わたしたちの祖先がどのように努力してきたか、調べてください。

そのようにして、村の人々の生活のようすをしっかりと勉強し、これからのわたしたちの村の発展について真剣に考え、よりよい村づくりに力をつくすことのできる人になることを願っています。

編集にあたり、村や教育委員会、そのほかたくさんの方々から貴重な資料の提供やご指導を賜りましたことに対して深く感謝し、お礼を申し上げます。

平成6年3月

むつみ村社会科副読本編集委員会

会長 藤本 節子

# 平成5年度 むつみ村社会科副読本編集委員会

(平成6年3月現在)

会	長	吉部小学校	校長	藤本	節子			
副	会	長	高俣小学校	校長	木村 浩			
編	集	委	員	長	高俣小学校	教頭	大谷	博昭
編	集	副	委	員	長	吉部小学校	教頭	金子 中
編	集	委	員	高俣小学校	教諭	末成	まどか	
編	集	委	員	吉部小学校	教諭	田中	清美	
編	集	委	員	高俣小学校	教諭	坂倉	弘道	
編	集	委	員	吉部小学校	教諭	鳥飼	亮志	
編	集	委	員	吉部小学校	教諭	古川	哲也	
編	集	委	員	高俣小学校	教諭	岩本	奈保	

## 編集協力者

前	会	長	元高俣小学校	校長	松井	秀夫				
前	編	集	副	委	員	長	椿東小学校	教頭	弘實	孝則

むつみ村役場各課

## ふるさと むつみ

平成 6 年 2 月 25 日 印刷

平成 6 年 3 月 1 日 発行

発行者 むつみ村教育委員会

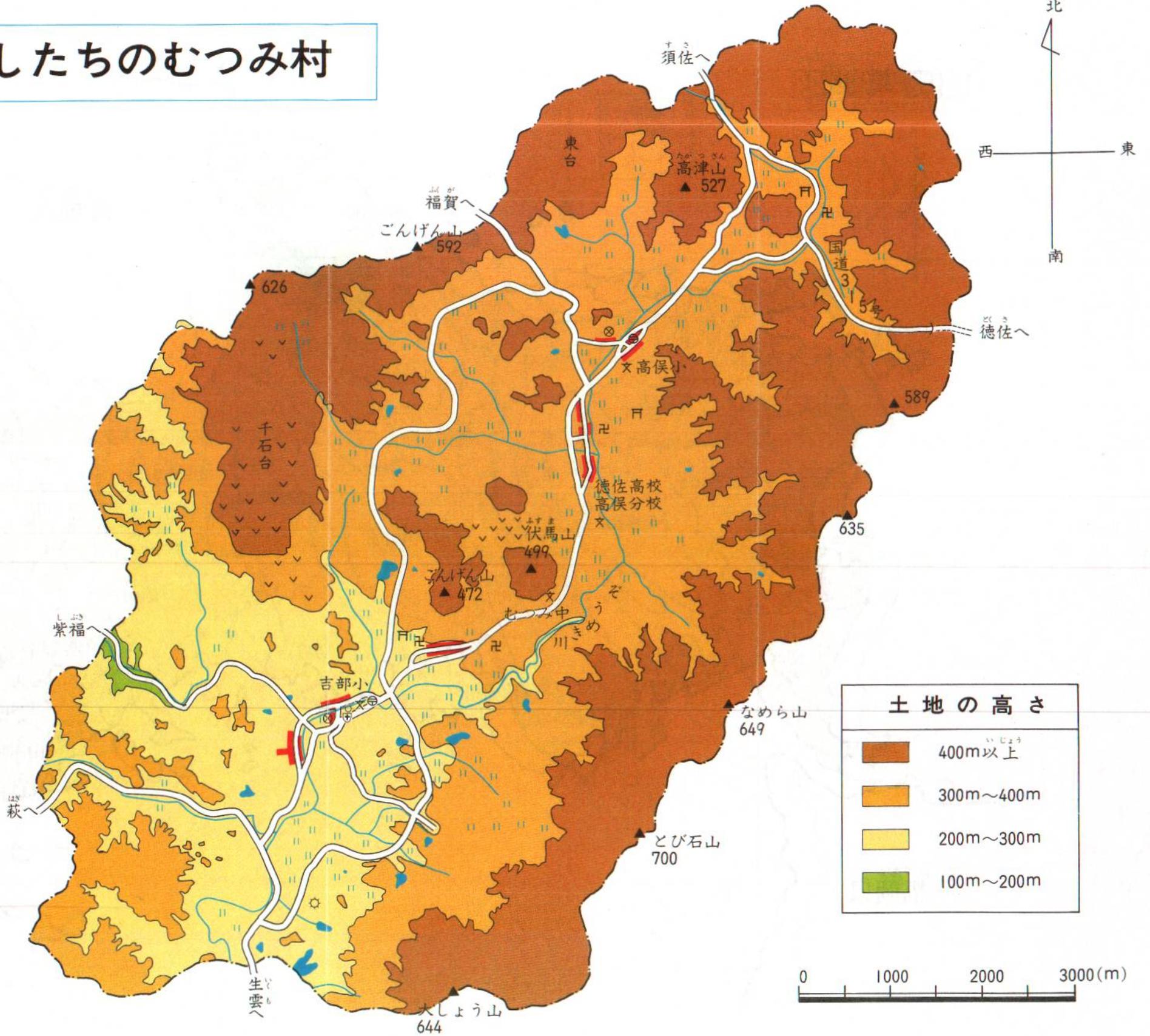
編集者 むつみ村社会科副読本編集委員会

印刷者 大村印刷株式会社

# わたしたちのむつみ村

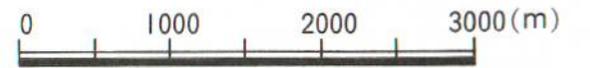
## 地図のきごう

- 村のさかい
- == 道 路
- 役 場
- 文 学 校
- ⊕ ゆうびん局
- ⊗ ちゅうざい所
- ⊕ しんりょう所
- ⊙ 工 場
- 卍 神 社
- 卍 寺
- 川 川
- た め 池
- ▲ 山のちよう上
- 水 田
- 畑
- 家が多いところ

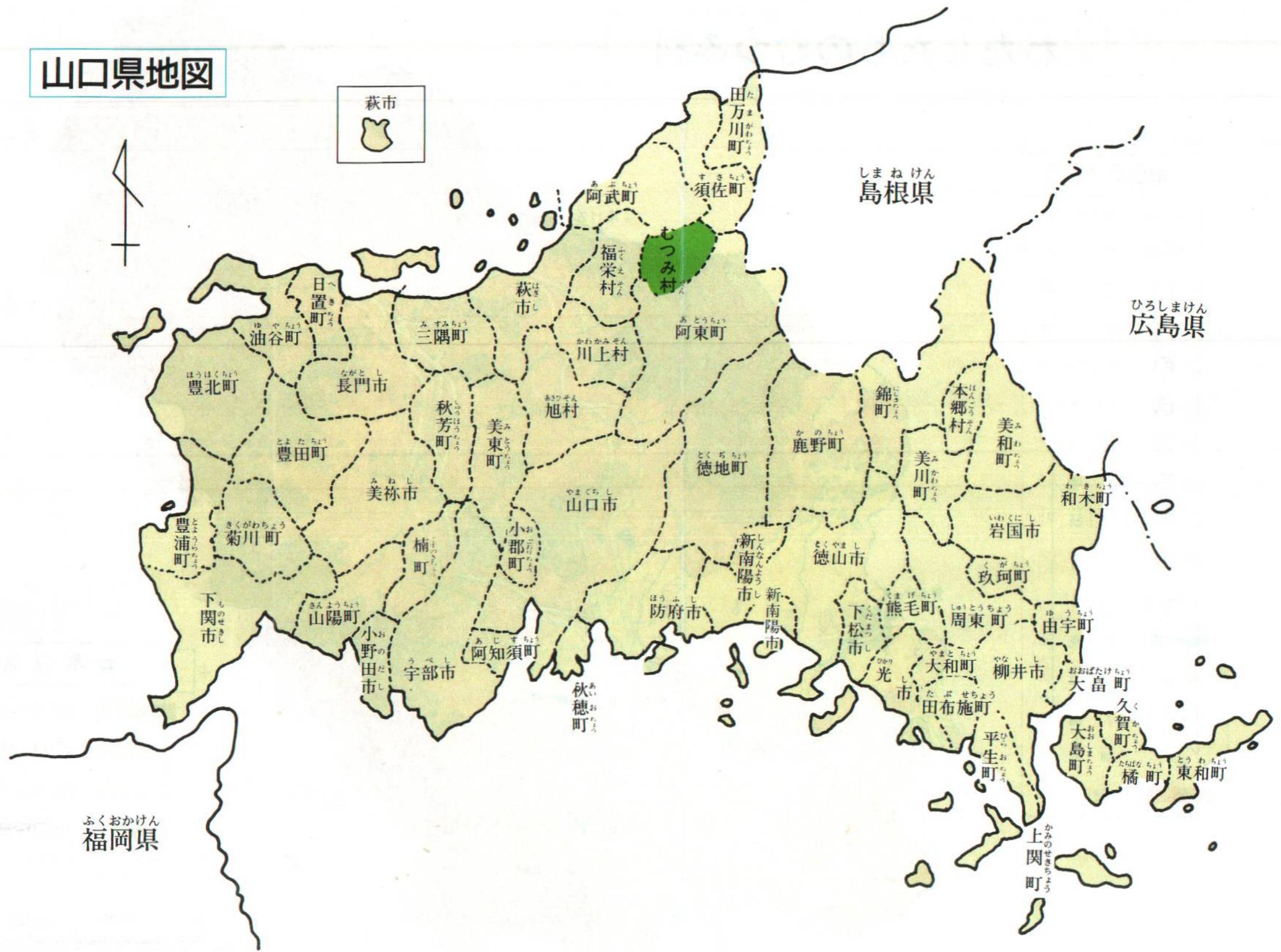


## 土地の高さ

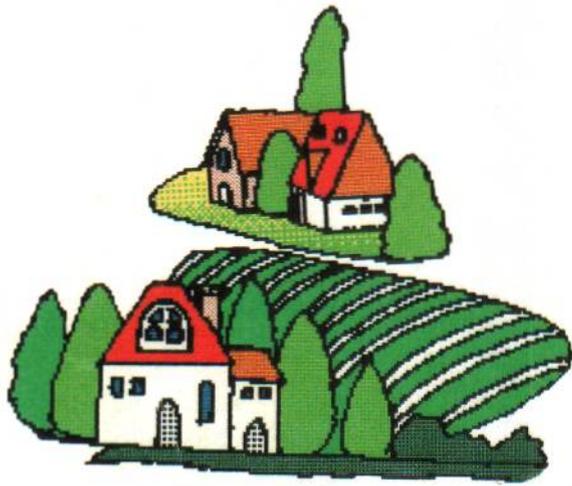
	400m以上
	300m~400m
	200m~300m
	100m~200m



# 山口県地図







ふるさと  
むつみ

---

小学校 年 組

---

なまえ

---

